

南日詰大銀Ⅱ遺跡

—第1次～第3次発掘調査報告書—

紫波、稗貫衛生処理組合
紫波町教育委員会

例 言

- 1 本書は、平成27～29年度実施した南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次～第3次調査についての記録保存を目的とした緊急発掘調査に関する報告書である。
- 2 調査概要
 - ・調査事由 町汚泥再生処理センター設置工事に伴う緊急発掘調査
 - ・第1次調査 調査期間：平成27年4月14日～平成27年7月17日 調査面積 418㎡
 - ・第2次調査 調査期間：平成28年4月4日～平成28年7月25日 調査面積 498㎡
 - ・第3次調査 調査期間：平成29年9月9日～平成29年11月10日 調査面積 536㎡
- 3 調査主体 紫波町教育委員会 教育長 佐美 淳
調査組織 紫波町教育委員会事務局 教育部長 石川 和広
生涯学習課 課長 俵 正行（～平成29年度）
古内 広貴（平成30年度～）
室長 谷地 和也
主任 岩館 岳
主事 上方 雄理
主任文化財専門員 鈴木 賢治
文化財専門調査員 川村 均（平成29年度）
文化財専門調査員 中島 康佑（平成30年度）
※調査担当及び本書の執筆は鈴木 賢治、川村 均、中島 康佑、編集は、鈴木 賢治が行った。
- 4 本報告書の作成に当たっては、下記の方々に御指導、御協力いただいた。（五十音順・敬称略）
高橋 正（紫波、稗貫衛生処理組合）、西沢 正晴（岩手県文化事業団埋蔵文化財センター）、羽柴 直人（岩手県文化事業団埋蔵文化財センター）、室野 秀文（盛岡市教育委員会）、八重樫 忠郎（平泉町役場）、八木 光則（岩手大学客員教授）、(株)タックエンジニアリング（ドローンによる空撮）、(株)プラス測量設計（座標測量・平面実測図）
- 5 土層図は、堆積の仕方を重視し線の太さを使い分けた。土層層相の色相観察は、「新版標準土色帖1998」小山・竹原著日本色研事業（株）を使用した。
- 6 本書に記載した地形図は、国土地理院発行の5万分の1日誌を使用した。
- 7 各遺構名と遺構記号は次の通り。
堅穴住居跡—SI、掘立柱建物跡—SB、井戸跡—SE、溝跡—SD、土坑跡—SK、堀跡—SA、柱穴—P、不明遺構—SX
- 8 座標数値 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次～第3次調査
基-1 X=-51823.241 Y=29123.943 基-2 X=-51853.706 Y=29123.259
- 9 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は、紫波町教育委員会において保管している。
- 10 現場作業及び室内整理作業は、次の方々に参加・協力して頂いた。（五十音順・敬称略）
稲垣 淳子、打越 紀美恵、小川 和晃、小澤 功子、川原 佳奈子、熊谷 正男、鈴木 業央子、鷹野 裕子、高橋 洗介、橋 孝子、谷村 育子、藤原 沙耶佳、藤原 求、松岡 好一、道又 祐二、八重樫 ひとみ、吉田 千鶴子

目 次

例 言	表 目 次
目 次	写真目次
本 目 次	抄 録
挿図目次	

本 目 次

I 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次～第3次調査 … 3	3 まとめ …………… 34
1 遺跡の環境 …………… 3	III 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第2次調査 …… 35
(1) 位置 …………… 3	1 調査の概要 …………… 35
(2) 地形と地質 …………… 3	2 調査の成果 …………… 36
(3) 周辺の遺跡 …………… 4	(1) 検出遺構 …………… 36
2 調査に至る経過 …………… 5	(2) 出土遺物 …………… 45
(1) 第1次調査 …………… 5	3 まとめ …………… 46
(2) 第2次調査 …………… 5	IV 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第3次調査 …… 47
(3) 第3次調査 …………… 5	1 調査の概要 …………… 47
II 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次調査 …… 6	2 調査の成果 …………… 48
1 第1次調査の概要 …………… 6	(1) 検出遺構 …………… 48
2 調査の成果 …………… 7	(2) 出土遺物 …………… 68
(1) 検出遺構 …………… 7	3 まとめ …………… 81
(2) 出土遺物 …………… 25	V 総括 …………… 82

挿 図 目 次

第1図 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次調査～第3次調査 遺構配置図 …………… 1～2
第2図 南日詰大銀Ⅱ遺跡 位置図 …………… 3
第3図 南日詰大銀Ⅱ遺跡周辺の主な遺跡位置図 …………… 4
・南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次調査
第4図 第1次調査 遺構配置図 …………… 6
第5図 SB-01 掘立柱建物跡 …………… 11
第6図 SB-02 掘立柱建物跡 …………… 12
第7図 SB-03 掘立柱建物跡 …………… 13
第8図 SB-04・SB-05 掘立柱建物跡 …………… 14
第9図 SB-06・SB-07 掘立柱建物跡 …………… 15
第10図 SB-08 掘立柱建物跡 …………… 16
第11図 SA-01・SA-02 塀跡 …………… 17
第12図 SK-01～SK-04 土坑跡 …………… 19
第13図 P1～P297 柱穴断面図 …………… 23

第 14 図	P299 ~ P503 柱穴断面図	24
第 15 図	出土遺物 ①	29
第 16 図	出土遺物 ②	30
第 17 図	出土遺物 ③	31
第 18 図	出土遺物 ④	32
第 19 図	出土遺物 ⑤	33
・南日詰大銀Ⅱ遺跡 第 2 次調査		
第 20 図	第 2 次調査 遺構配置図	35
第 21 図	SA-01 ~ SA-03 塀跡	37
第 22 図	門跡-01・02 SD-01 溝跡	38
第 23 図	SK-05 土坑跡 SX-01 ~ SX-03 不明遺構	39
第 24 図	P1 ~ P101 柱穴断面図	41
第 25 図	出土遺物	46
・南日詰大銀Ⅱ遺跡 第 3 次調査		
第 26 図	第 3 次調査 遺構配置図	47
第 27 図	SI-01 竪穴住居跡	48
第 28 図	SI-02 竪穴状遺構	49
第 29 図	SB-09 掘立柱建物跡	50
第 30 図	SE-01・SE-02 井戸跡	52
第 31 図	SE-03 ~ SE-07 井戸跡	53
第 32 図	SK-06 ~ SK-13 土坑跡	57
第 33 図	SK-14 ~ SK-19 土坑跡	58
第 34 図	SD-02 溝跡	59
第 35 図	P1 ~ P150 柱穴断面図	61
第 36 図	P151 ~ P271 柱穴断面図	62
第 37 図	出土遺物 ①	72
第 38 図	出土遺物 ②	73
第 39 図	出土遺物 ③	74
第 40 図	出土遺物 ④	75
第 41 図	出土遺物 ⑤	76
第 42 図	出土遺物 ⑥	77
第 43 図	出土遺物 ⑦	78
第 44 図	出土遺物 ⑧	79
第 45 図	出土遺物 ⑨	80

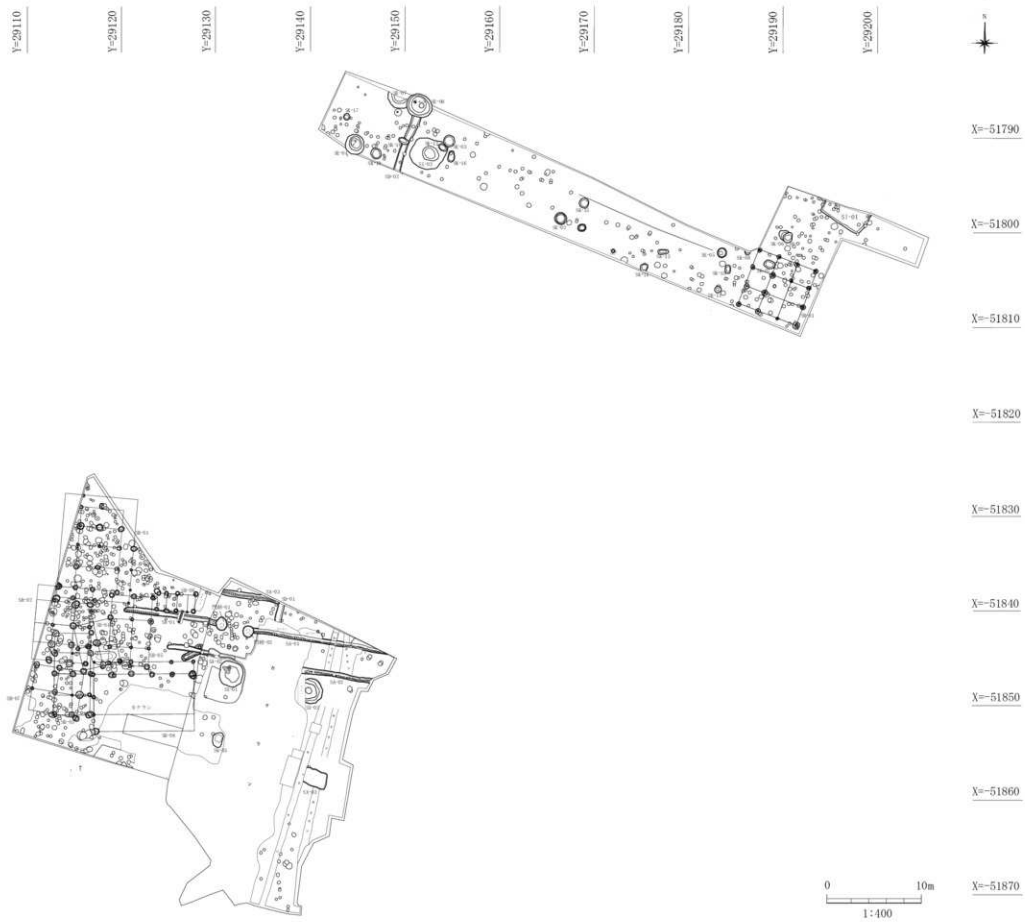
表 目 次

・南日詰大銀Ⅱ遺跡 第 1 次調査		
表 1	南日詰大銀Ⅱ遺跡 周辺の主な遺跡一覧表	4
表 2	埋土注記一覧表	20
表 3	柱穴計測一覧表	21 ~ 22

表 4	出土遺物一覧表	26 ~ 28
・南日詰大銀Ⅱ遺跡	第 2 次調査	
表 5	P1 ~ P101 柱穴計測一覧表	40
表 6	埋土注記一覧表	42 ~ 44
表 7	出土遺物一覧表	45
・南日詰大銀Ⅱ遺跡	第 3 次調査	
表 8	柱穴計測一覧表	60
表 9	埋土注記一覧表	63 ~ 67
表 10	出土遺物一覧表	69 ~ 71

写真目次

第 1 図版	第 1 次 ~ 第 3 次調査 調査区全景合成 (空撮)
第 2 図版	第 1 次・第 2 次調査 調査区全景合成 (空撮)
第 3 図版	第 1 次調査区全景 (空撮)
第 4 図版	第 2 次調査区全景 (空撮)
第 5 図版	第 3 次調査区全景 (空撮)
第 6 図版	第 1 次調査 SA-01 ~ SA-02・出土遺物状況
第 7 図版	第 2 次調査 SA-01 ~ SA-03・門跡 01-02・SX-01 ~ SX-02
第 8 図版	第 3 次調査 SI-01 ~ SI-02・SE-02 ~ SE-04
第 9 図版	第 3 次調査 SE-06・SD-02・出土遺物状況
第 10 図版	かわらけ NO-1 ~ NO-24 出土遺物 ①
第 11 図版	かわらけ NO-25 ~ NO-48 出土遺物 ②
第 12 図版	土師器 NO-60・かわらけ NO-49・NO-53 ~ NO-59・NO-61 ~ NO-65・NO-70 ~ NO-79 出土遺物 ③
第 13 図版	かわらけ NO-80 ~ NO-103 出土遺物 ④
第 14 図版	かわらけ NO-104 ~ NO-120・NO-134 ~ NO-140 出土遺物 ⑤
第 15 図版	土師器 NO-147 かわらけ NO-141 ~ NO-142・NO-147 ~ NO-168 出土遺物 ⑥
第 16 図版	かわらけ NO-169 ~ NO-192 出土遺物 ⑦
第 17 図版	かわらけ NO-193 ~ NO-216 出土遺物 ⑧
第 18 図版	かわらけ NO-217 ~ NO-240 出土遺物 ⑨
第 19 図版	かわらけ NO-241 ~ NO-244 国産陶器 NO-249 ~ NO-251 出土遺物 ⑩
第 20 図版	須恵器 NO-248・NO-272 国産陶器 NO-51・NO-66 ~ NO-68・NO-121・NO-123・NO-143・NO-245 ~ NO-247・NO-252 ~ NO-259・NO-262・NO-263・NO-266 ~ NO-272 出土遺物 ⑪
第 21 図版	国産陶器 NO-273 ~ NO-291・中国産磁器 NO-50・NO-52・NO-122・NO-124・NO-144・NO-145・NO-260・NO-265・NO-284 ~ NO-287・NO-291 出土遺物 ⑫
第 22 図版	木製品 NO-299・NO-300 出土遺物 ⑬
第 23 図版	木製品 NO-292 ~ NO-298・古銭 NO-126 ~ NO-146・鉄製品 NO-69・壁材 NO-301・石製 NO-125 出土遺物 ⑭



南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次～第3次調査区 遺構配置図

I 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次～3次調査

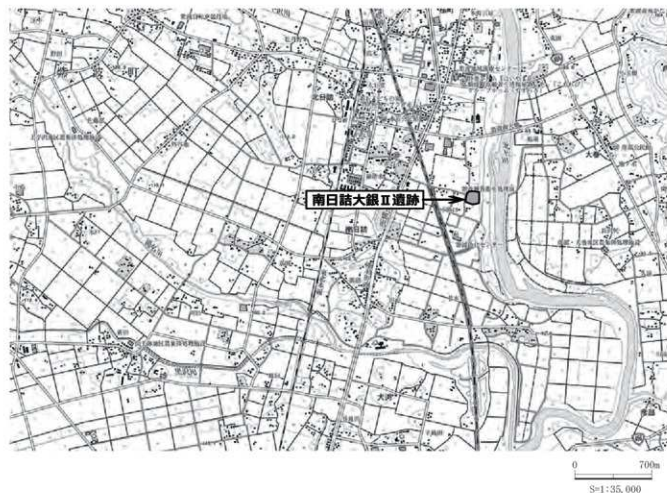
1 遺跡の環境

(1) 位 置

本遺跡は、JR東北線日詰駅から南東約1.2kmに位置し、岩手県紫波郡紫波町南日詰字小路口92-1地内に所在し、現在は紫波、稚貫衛生処理組合処理場が稼働中である。遺跡範囲は東西約170m、南北約140mと推定される。

(2) 地形と地質

本遺跡の東側約0.2kmには、紫波町の中央を縦断するように北上川が南流する。平地は、西側一帯の奥羽山脈から流れ出て北上川に注ぐ滝名川・大坪川・五内川等の中小河川群によって、広く扇状地や氾濫低地が形成されている。北上川中流域西側の扇状地性段丘は、西根段丘・村崎野段丘・金ヶ崎段丘と大きく三分類されるが、紫波町内に相当するものとして、石鳥谷段丘・二枚橋段丘・都南段丘と命名された段丘群が知られている。



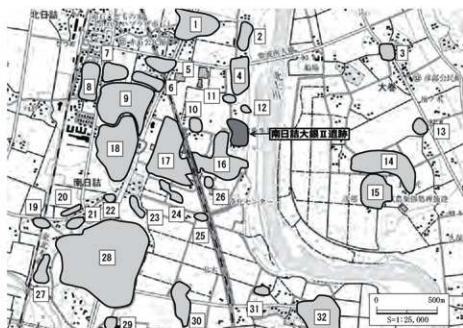
第2図 南日詰大銀Ⅱ遺跡 位置図

(3) 周辺の遺跡

本遺跡の北に北条館・北日詰城内遺跡、南に南日詰小路口Ⅰ遺跡・南日詰田中Ⅱ遺跡、東に大巻長沢尻遺跡・赤川館、西に南日詰大銀Ⅰ遺跡・南日詰小路口Ⅱ遺跡などが所在する。また、紫波町内には、県指定史跡である川原毛瓦窯跡、舟久保洞窟、町指定史跡である陣ヶ岡陣営跡、樋爪館跡、高水寺城跡など貴重な遺跡が多く存在する。

番号	遺跡名	所在地	種類・時代	遺物
1	大目堂	北日詰字大目堂、字白飯、字城内、字東ノ坊	集落跡・城郭跡	土師器
2	北日詰城内Ⅱ	北日詰字城内	散布地・縄文	縄文土器
3	梅ノ木館（八巻）	大巻字梅ノ木	中世・城郭跡	—
4	北条館	北日詰字城内	中世・城郭跡	土師器
5	北日詰東ノ坊Ⅱ	北日詰字東ノ坊、下東ノ坊	散布地・古代	土師器
6	北日詰東ノ坊Ⅲ	北日詰字東ノ坊	散布地・古代	土師器、須恵器、かわらけ、磁器
7	北日詰東ノ坊Ⅳ	北日詰字東ノ坊	散布地・古代	土師器、須恵器、かわらけ、磁器
8	北日詰東ノ坊Ⅴ	北日詰字東ノ坊	散布地・古代	土師器
9	此爪館	南日詰字瀬清水	中世・城郭跡	土師器、須恵器、かわらけ、磁器
10	南日詰大銀Ⅰ	南日詰字大銀、字小路口	散布地・古代	土師器
11	北日詰下東ノ坊	北日詰下東ノ坊、字城内	散布地・古代	土師器、白磁
12	北日詰城内Ⅰ	北日詰字城内	散布地・古代	土師器、須恵器
13	大巻長沢尻Ⅱ	大巻字門田、字梅ノ木	散布地・縄文	縄文土器
14	大巻長沢尻Ⅲ	大巻字長沢尻、字門田、字白飯	散布地・縄文・古代	縄文土器、土師器
15	赤川館	大巻字長沢尻、字下田原	中～近世・城郭跡	—
16	南日詰小路口Ⅰ	南日詰字小路口	土師器、須恵器、かわらけ、磁器	土師器、須恵器、かわらけ、磁器
17	南日詰小路口Ⅱ	南日詰字小路口	散布地・古代・中世	土師器、須恵器、かわらけ、磁器
18	五郎沼	南日詰字瀬清水	散布地・縄文	縄文土器、石鏡、石斧、石匙
19	南日詰京田Ⅰ	南日詰字京田	散布地・古代	土師器、須恵器
20	南日詰藤沼Ⅰ	南日詰字藤沼	散布地・古代	土師器
21	南日詰藤沼Ⅱ	南日詰字藤沼	散布地・古代	土師器
22	伝蛇塚	南日詰字藤沼	散布地	—
23	南日詰字田中Ⅰ	南日詰字田中	散布地・古代	須恵器
24	南日詰宮崎	南日詰字宮崎	散布地・古代	土師器
25	南日詰田中Ⅱ	南日詰字甘木	散布地・古代	土師器
26	南日詰小路口Ⅲ	南日詰字宮崎	散布地・古代	土師器
27	南日詰京田Ⅱ	南日詰字京田	散布地・古代	須恵器
28	南日詰	南日詰字藤沼、京田、滝名川、田中	散布地・縄文・古代	縄文土器、土師器、須恵器
29	南日詰滝名川Ⅰ	南日詰字滝名川	散布地・古代	—
30	南日詰滝名川Ⅱ	南日詰字滝名川、字甘木	散布地・縄文	縄文土器
31	南日詰八坂	南日詰字八坂	散布地・古代	須恵器
32	下田原Ⅰ	南日詰字下田原、字八坂	散布地・古代	土師器

表1 南日詰大銀Ⅱ遺跡 周辺の主な遺跡一覧表



第3図 南日詰大銀Ⅱ遺跡 周辺の主な遺跡位置図

2 調査に至る経過

(1) 第1次調査・第2次調査

平成26年8月、紫波、稗貫衛生処理組合の平成30年度解散に伴う同組合し尿処理場解体と、跡地の紫波町取得及び紫波町新汚泥再生処理施設建設計画について紫波町役場産業部環境課と事前協議を行った。

現地の状況を確認した結果、し尿処理場の敷地は全て南日詰大銀Ⅱ遺跡（LE77-1104）に含まれており、昭和40年代の処理場建設工事で破壊された箇所も推測されるものの、駐車場等の地下に遺構・遺物が破壊を免れて存在していることが考えられ、平成27年1月27日～28日にかけて同組合事務所西側駐車場を管理者承諾のもと試掘調査した。その結果、敷地内より12世紀頃のものと思われる遺構、遺物が多数発見されたことから工事着手前の緊急発掘調査が必要である旨を同課に対して回答した。

当時、紫波、稗貫衛生処理組合し尿処理場は稼働中であったため、紫波町新汚泥再生処理施設建設工事に係る発掘調査期間を施設解体スケジュールと調整の上、2カ年とし、下記の日程で記録保存調査を行った。

[第1次調査] 平成27年4月14日～7月17日（調査面積418㎡、紫波町単独事業）

[第2次調査] 平成28年4月4日～7月25日（調査面積498㎡、紫波町単独事業）

(2) 第3次調査

平成29年度以降実施される紫波、稗貫衛生処理組合解散に伴う施設解体工事において施設北隣地の新規掘削が必要なことが明らかとなったため、同組合と事前協議を行い、地権者承諾のもと、平成29年5月24日に試掘調査を実施した。その結果、多数の遺構・遺物が確認されたことから工事着手前の緊急発掘調査が必要である旨を同組合に対して回答した。

協議を重ね、平成29年9月5日付けで紫波、稗貫衛生処理組合と費用負担契約を締結し、下記日程で発掘調査を行った。

[第3次調査] 平成29年9月5日～平成29年11月10日（調査面積536㎡、紫波、稗貫衛生処理組合負担事業）

II 南日詰大銀II遺跡 第1次調査

1 第1次調査の概要

位 置 紫波、種貫衛生処理組合処理場敷地内の事務所に付属する西側駐車場の地点で、東西17.6m、南北28.8mを調査した。

検出遺構 掘立柱建物跡8棟、堀跡2条、土坑跡4基、柱穴411口である。

出土遺物 かわけ、土師質土器、国産陶器、中国産磁器、鉄製品、その他。



第4図 第1次調査 遺構配置図

2 調査の成果

(1) 検出遺構

SB-01 掘立柱建物跡 (第5図)

位 置	調査区北側
平 面 形	二面庇建物。母屋桁行4間・梁間2間、庇桁行6間・梁間4間。(長方形)
重複関係	SB-02・05と重複するが、柱穴相互の切合いが無く新旧関係は不明である。
規 模	母屋南北4間8.97m(29尺9寸)、東西2間4.53m(15尺1寸)
棟 方 向	西側で柱列N5°E
埋 土	自然堆積。暗褐色土～明黄褐色土を主体とする。
柱間寸法	母屋桁行SP-1・SP-2間2.21m(7尺4寸)、SP-2・SP-3間2.03m(6尺8寸)、SP-3・SP-4間2.33m(7尺7寸)、SP-4・SP-5間2.4m(8尺)、SP-6・SP-7間2.19m(7尺3寸)、SP-7・SP-8間2.01m(6尺7寸)、SP-8・SP-9間2.32m(7尺7寸)、SP-9・SP-10間2.44m(8尺1寸)、SP-11・SP-12間1.98m(6尺6寸)、SP-12・SP-13間2.37m(7尺9寸)、SP-13・SP-14間2.45m(8尺2寸)、母屋梁行SP-1・SP-6間2.28m(7尺6寸)、SP-2・SP-7間2.32m(7尺7寸)、SP-3・SP-8間2.35m(7尺8寸)、SP-4・SP-9間2.35m(7尺8寸)、SP-5・SP-10間2.37m(7尺9寸)、SP-7・SP-11間2.28m(7尺6寸)、SP-8・SP-12間2.18m(7尺3寸)、SP-9・SP-13間2.18m(7尺3寸)、SP-10・SP-14間2.18m(7尺3寸)をはかる。庇桁行SP-15・SP-16間1.18m(3尺9寸)、SP-17・SP-1間1.12m(3尺7寸)、SP-5・SP-18間1.18m(3尺9寸)、SP-10・SP-19間1.15m(3尺8寸)、SP-20・SP-21間2.39m(8尺)、SP-21・SP-22間2.44m(8尺1寸)、SP-22・SP-23間1.11m(3尺7寸)、庇梁間SP-15・SP-5間1.86m(6尺2寸)、SP-16・SP-18間1.87m(6尺2寸)、SP-18・SP-19間2.32m(7尺7寸)、SP-12・SP-20間1.52m(5尺1寸)、SP-13・SP-21間1.51m(5尺)、SP-14・SP-22間1.5m(5尺)をはかる。
柱 穴	各柱穴の深さは次の通りである。SP-1 13cm、SP-2 28cm、SP-3 12cm、SP-4 42cm、SP-5 12cm、SP-6 22cm、SP-7 57cm、SP-8 26cm、SP-9 12cm、SP-10 10cm、SP-11 37cm、SP-12 17cm、SP-13 20cm、SP-14 20cm、SP-15 23cm、SP-16 23cm、SP-17 31cm、SP-18 20cm、SP-19 15cm、SP-20 33cm、SP-21 31cm、SP-22 10cm、SP-23 28cmをはかる。
出土遺物	かわらけ

SB-02 掘立柱建物跡 (第6図)

位 置	調査区西側中央
平 面 形	三面庇建物。母屋桁行2間・梁間1間、庇桁行4間・梁間2間。(長方形)
重複関係	SB-01・03・04と重複するが、柱穴相互の切合いが無く新旧関係は不明である。
規 模	母屋南北2間4.54m(15尺1寸)、東西1間2.1m(7尺)
棟 方 向	西側で柱列N4°E
埋 土	自然堆積。暗褐色土～明黄褐色土を主体とする。
柱間寸法	母屋桁行SP-1・SP-2間2.55m(8尺5寸)、SP-2・SP-3間2.0m(6尺7寸)、SP-4・SP-5間2.39m(8尺)、SP-5・SP-6間2.07m(6尺9寸)、母屋梁間SP-1・SP-4間2.16m(7尺2寸)、SP-2・SP-5間2.14m(7尺1寸)、SP-3・SP-6間2.17m(7尺2寸)をはかる。庇桁行SP-7・SP-1間1.57m(5尺2寸)、SP-3・SP-8間1.85m(6尺2寸)。

SP-9・SP-4間1.61m(5尺4寸)、SP-6・SP-10間1.88m(6尺3寸)、SP-11・SP-12間1.63m(5尺4寸)、SP-12・SP-13間2.35m(7尺8寸)、SP-13・SP-14間2.08m(6尺9寸)、SP-14・SP-15間1.9m(6尺3寸)、底梁間SP-7・SP-9間2.12m(7尺1寸)、SP-8・SP-10間2.15m(7尺2寸)、SP-9・SP-11間1.84m(6尺1寸)、SP-4・SP-12間1.82m(6尺1寸)、SP-5・SP-13間1.84m(6尺1寸)、SP-6・SP-14間1.83m(6尺1寸)、SP-10・SP-15間1.84m(6尺1寸)をはかる。

柱 穴 各柱穴の深さは次の通りである。SP-1 20cm、SP-2 13cm、SP-3 24cm、SP-4 18cm、SP-5 23cm、SP-6 33cm、SP-7 20cm、SP-8 17cm、SP-9 14cm、SP-10 24cm、SP-11 15cm、SP-12 18cm、SP-13 11cm、SP-14 20cm、SP-15 23cmをはかる。

出土遺物 かわらけ

SB-03 掘立柱建物跡 (第7図)

位 置 調査区西側

平 面 形 桁行4間・梁間2間(長方形)

重複関係 SB-02・04・07と重複するが、柱穴相互の切合いが無く新旧関係は不明である。SB-08に切られる。

規 模 南北4間8.82m(29尺4寸)、東西2間3.86m(12尺9寸)

棟 方 向 西側で柱列N1°E

埋 土 自然堆積。暗褐色土～明黄褐色土を主体とする。

柱間寸法 桁行SP-1・SP-2間2.21m(7尺4寸)、SP-2・SP-3間2.22m(7尺4寸)、SP-3・SP-4間2.28m(7尺6寸)、SP-4・SP-5間2.11m(7尺)、SP-6・SP-7間2.2m(7尺3寸)、SP-7・SP-8間2.27m(7尺6寸)、SP-8・SP-9間2.08m(6尺9寸)、SP-10・SP-11間2.21m(7尺4寸)、SP-11・SP-12間2.21m(7尺4寸)、SP-12・SP-13間2.27m(7尺6寸)、SP-13・SP-14間2.1m(7尺)、梁間SP-2・SP-6間1.94m(6尺5寸)、SP-3・SP-7間1.95m(6尺5寸)、SP-4・SP-8間1.96m(6尺5寸)、SP-5・SP-9間1.95m(6尺5寸)、SP-6・SP-11間1.92m(6尺4寸)、SP-7・SP-12間1.9m(6尺3寸)、SP-8・SP-13間1.9m(6尺3寸)、SP-9・SP-14間1.88m(6尺3寸)をはかる。

柱 穴 各柱穴の深さは次の通りである。SP-1 42cm、SP-2 20cm、SP-3 36cm、SP-4 45cm、SP-5 27cm、SP-6 24cm、SP-7 35cm、SP-8 17cm、SP-9 24cm、SP-10 34cm、SP-11 33cm、SP-12 29cm、SP-13 20cm、SP-14 34cmをはかる。

出土遺物 かわらけ

SB-04 掘立柱建物跡 (第8図)

位 置 調査区中央

平 面 形 桁行2間・梁間2間(長方形)

重複関係 SB-02・03・05・07・08と重複するが、柱穴相互の切合いが無く新旧関係は不明である。

規 模 北西—南東2間4.76m(15尺9寸)、南西—北東2間4.04m(13尺5寸)

棟 方 向 西側で柱列N14°W

埋 土 自然堆積。暗褐色土～明黄褐色土を主体とする。

柱間寸法 桁行SP-1・SP-2間2.41m(8尺)、SP-2・SP-3間2.38m(7尺9寸)、SP-4・SP-5間2.39m(7尺9寸)、SP-5・SP-6間2.36m(7尺9寸)、SP-7・SP-8間2.37m(7尺9寸)、SP-8・SP-9間2.38m(7尺9寸)、梁間SP-1・SP-4間2.13m(7尺1寸)、SP-2・SP-5

	間 2.14m (7 尺 1 寸)、SP-3・SP-6 間 2.13m (7 尺 1 寸)、SP-4・SP-7 間 1.95m (6 尺 5 寸)、 SP-5・SP-8 間 1.94m (6 尺 5 寸) SP-6・SP-9 間 1.95m (6 尺 5 寸) をはかる。
柱 穴	各柱穴の深さは次の通りである。SP-1 25cm、SP-2 27cm、SP-3 51cm、SP-4 21cm、 SP-5 35cm、SP-6 43cm、SP-7 21cm、SP-8 23cm、SP-9 24cm をはかる。
出土遺物	かわらけ

SB-05 掘立柱建物跡 (第8図)

位 置	調査区中央
平面形	桁行3間・梁間2間(長方形)
重複関係	SB-01・04・08と重複するが、柱穴相互の切合いが無く新旧関係は不明である。
規模	北南3間7.57m(25尺2寸)、西東2間4.27m(14尺2寸)
棟方向	西側で柱列N5°W
埋 土	自然堆積。暗褐色土～明黄褐色土を主体とする。
柱間寸法	桁行SP-1・SP-2間2.56m(8尺5寸)、SP-2・SP-3間3.06m(10尺2寸)、SP-3・SP-4 間1.95m(6尺5寸)、SP-5・SP-6間2.53m(8尺4寸)、SP-6・SP-7間3.05m(10尺2寸)、 SP-7・SP-8間1.96m(6尺5寸)、SP-9・SP-10間2.55m(8尺5寸)、SP-10・SP-11 間3.06m(10尺2寸)、SP-11・SP-12間1.95m(6尺5寸)、梁間SP-1・SP-5間2.37m (7尺9寸)、SP-2・SP-6間2.36m(7尺9寸)、SP-3・SP-7間2.35m(7尺9寸)、 SP-4・SP-8間2.36m(7尺9寸)、SP-5・SP-9間2.1m(7尺)、SP-6・SP-10間1.98m (6尺6寸)、SP-7・SP-11間2.02m(6尺7寸)、SP-8・SP-12間2.03m(6尺7寸) をはかる。
柱 穴	各柱穴の深さは次の通りである。SP-1 26cm、SP-2 21cm、SP-3 28cm、SP-4 37cm、 SP-5 27cm、SP-6 14cm、SP-7 23cm、SP-8 13cm、SP-9 40cm、SP-10 39cm、 SP-11 13cm、SP-12 57cm をはかる。
出土遺物	かわらけ

SB-06 掘立柱建物跡 (第9図)

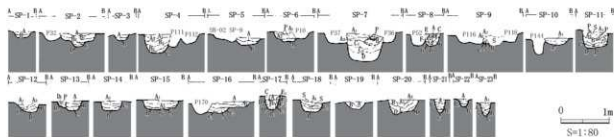
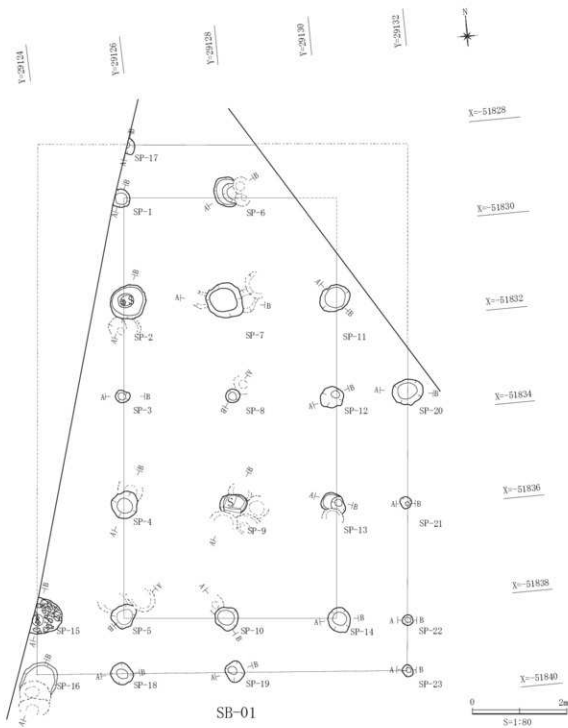
位 置	調査区北東側
平面形	桁行4間・梁間1間(長方形)
重複関係	SA-01を切る。
規模	西東4間4.0m(13尺3寸)、北南1間1.8m(6尺)
棟方向	西側で柱列N4°W
埋 土	自然堆積。暗褐色土～明黄褐色土を主体とする。
柱間寸法	桁行SP-2・SP-4間0.97m(3尺2寸)、SP-4・SP-6間1.13m(3尺8寸)、SP-6・SP-7 間1.14m(3尺8寸)、SP-7・SP-9間0.74m(2尺5寸)、SP-1・SP-3間0.98m(3尺 3寸)、SP-3・SP-5間1.15m(3尺8寸)、SP-5・SP-9間1.87m(6尺2寸)、梁間 SP-1・SP-2間1.8m(6尺)、SP-3・SP-4間1.79m(6尺)、SP-5・SP-6間1.1m(3 尺7寸)、SP-8・SP-9間1.82m(6尺1寸)をはかる。
柱 穴	各柱穴の深さは次の通りである。SP-1 24cm、SP-2 14cm、SP-3 20cm、SP-4 38cm、 SP-5 14cm、SP-6 13cm、SP-7 17cm、SP-8 33cm、SP-9 23cm をはかる。
出土遺物	かわらけ

SB-07 掘立柱建物跡 (第9図)

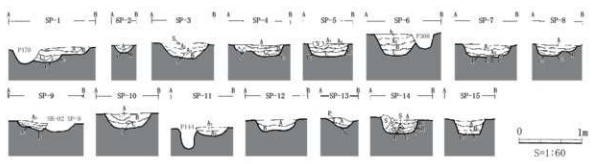
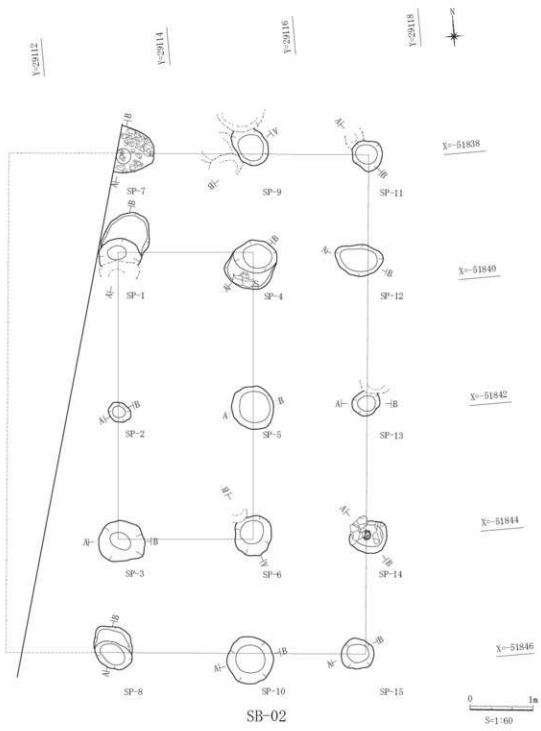
位 置	調査区南側
平 面 形	桁行2間・梁間2間(正方形)
重複関係	SB-03・04と重複するが、柱穴相互の切合いが無く新旧関係は不明である。
規 模	北東—南西2間5.01m(16尺7寸)、北西—南東2間5.26m(17尺5寸)
棟 方 向	西側で柱列N11°E
埋 土	自然堆積。暗褐色土～明黄褐色土を主体とする。
柱間寸法	桁行SP-1・SP-2間2.59m(8尺6寸)、SP-3・SP-4間2.6m(8尺7寸)、SP-4・SP-5間2.45m(8尺2寸)、SP-6・SP-7間2.58m(8尺6寸)、SP-7・SP-8間2.43m(8尺1寸)、梁間SP-1・SP-3間2.64m(8尺8寸)、SP-2・SP-4間2.65m(8尺8寸)、SP-3・SP-6間2.62m(8尺7寸)、SP-4・SP-7間2.59m(8尺6寸)、SP-5・SP-8間2.67m(8尺9寸)をはかる。
柱 穴	各柱穴の深さは次の通りである。SP-1 44cm、SP-2 11cm、SP-3 37cm、SP-4 45cm、SP-5 27cm、SP-6 54cm、SP-7 62cm、SP-8 40cmをはかる。
出土遺物	かわらけ

SB-08 掘立柱建物跡 (第10図)

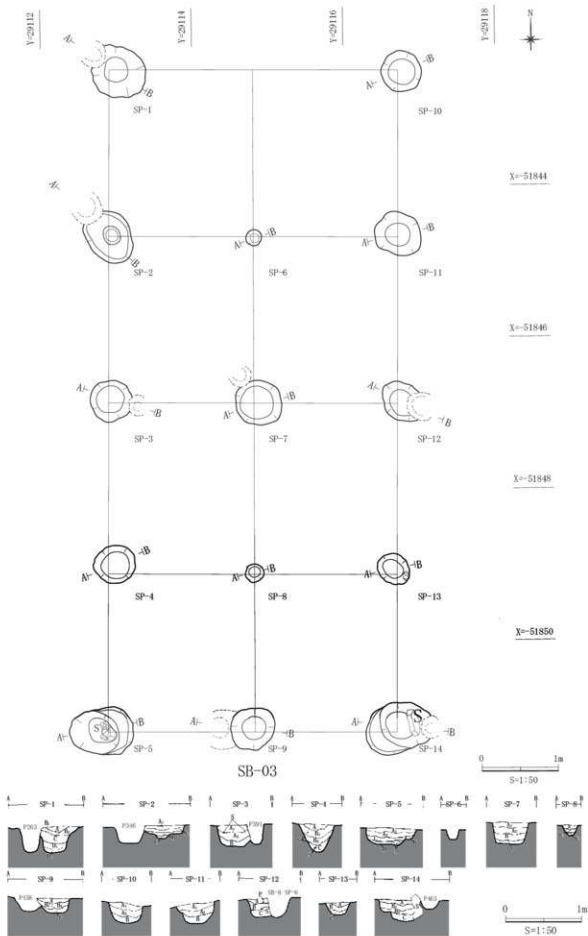
位 置	調査区南側
平 面 形	二面庇建物。母屋桁行5間・梁間2間、庇桁行5間・梁間1間。(長方形)
重複関係	SB-04・05と重複するが、柱穴相互の切合いが無く新旧関係は不明である。SB-07を切る。
規 模	母屋南北5間10.72m(35尺7寸)、東西3間4.76m(15尺9寸)
棟 方 向	西側で柱列N1°W
埋 土	自然堆積。暗褐色土～明黄褐色土を主体とする。
柱間寸法	母屋桁行SP-1・SP-2間2.38m(7尺9寸)、SP-2・SP-3間2.1m(7尺)、SP-3・SP-4間2.23m(7尺4寸)、SP-4・SP-5間2.26m(7尺5寸)、SP-5・SP-6間1.75m(5尺8寸)、母屋梁間、SP-6・SP-7間2.37m(7尺9寸)、SP-7・SP-8間2.39m(8尺)、庇桁行SP-9・SP-10間2.35m(7尺8寸)、SP-10・SP-11間4.37m(14尺6寸)、SP-11・SP-12間2.29m(7尺6寸)、SP-12・SP-13間1.7m(5尺7寸)、庇梁間SP-9・SP-11間1.39m(4尺6寸)、SP-10・SP-2間1.38m(4尺6寸)、SP-11・SP-4間1.36m(4尺5寸)、SP-12・SP-5間1.36m(4尺5寸)、SP-13・SP-6間1.33m(4尺4寸)、SP-14・SP-8間1.28m(4尺3寸)をはかる。
柱 穴	各柱穴の深さは次の通りである。SP-1 20cm、SP-2 37cm、SP-3 20cm、SP-4 15cm、SP-5 30cm、SP-6 33cm、SP-7 26cm、SP-8 29cm、SP-9 36cm、SP-10 25cm、SP-11 44cm、SP-12 25cm、SP-13 26cm、SP-14 30cmをはかる。
出土遺物	かわらけ



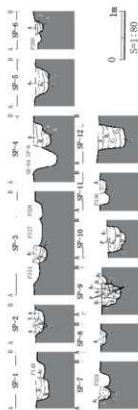
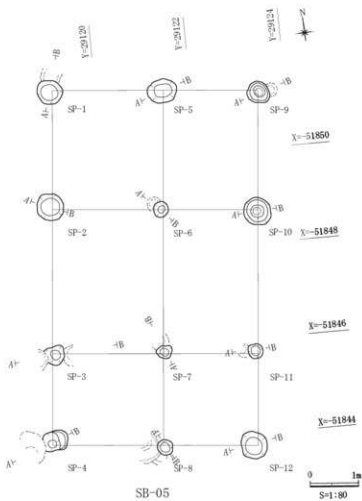
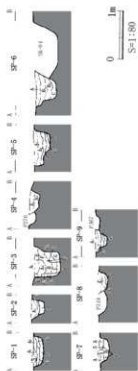
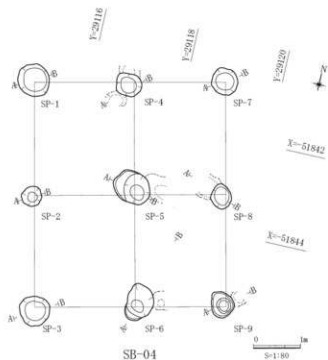
第5図 SB-01 掘立柱建物跡



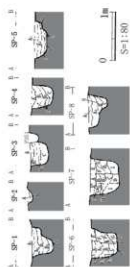
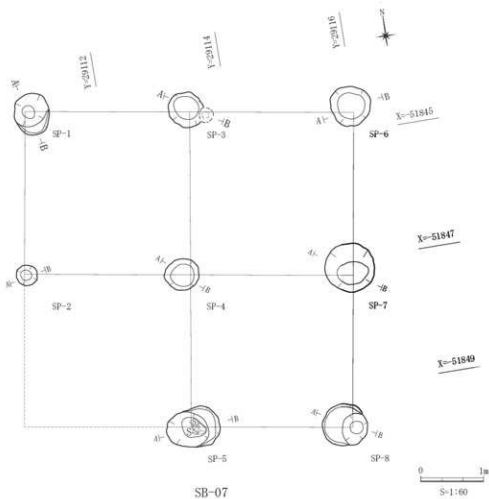
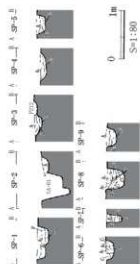
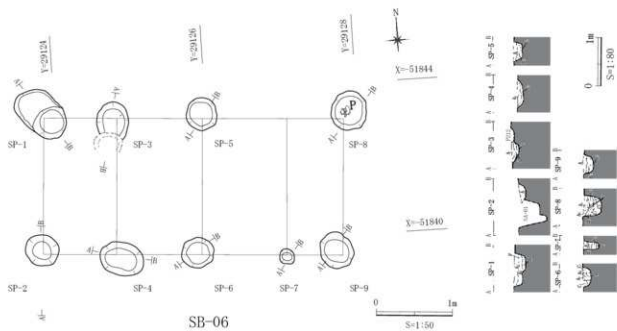
第6図 SB-02 掘立柱建物跡



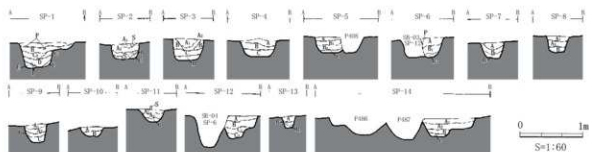
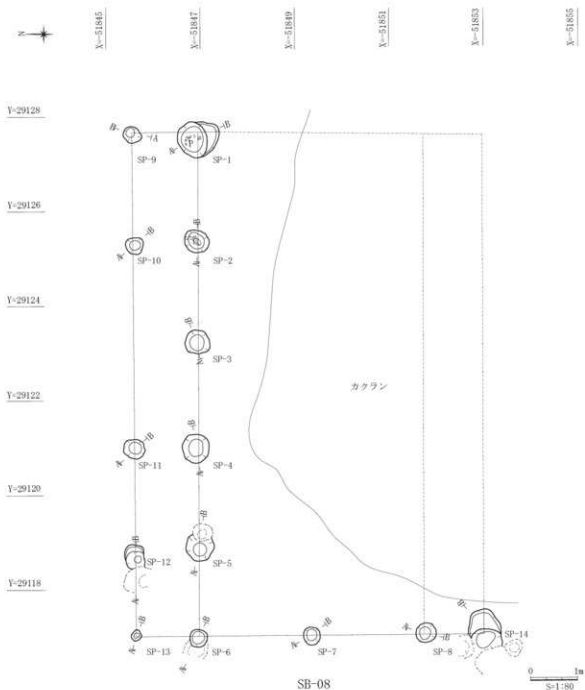
第7図 SB-03 掘立柱建物跡



第 8 图 SB-04 · SB-05 掘立柱建物跡



第9図 SB-06・SB-07 掘立柱建物跡



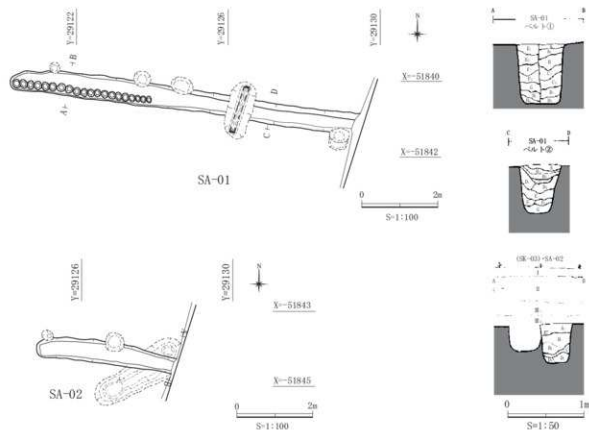
第10図 SB-08 掘立柱建物跡

SA-01 堀跡 (第11図)

- 位置** 調査区東側 平面形 直線状に東西に延びる。重複関係 SB-05・SK-01・P242・P247・P300に切られる。
- 検出面** 褐色シルト層上面 **掘込面** 削平 **壁の状況** ほぼ垂直に立ち上がる。
- 規模** 幅上端0.57m～0.63m、幅下端0.41m～0.52m、検出面から底面までの深さは0.68m～0.73mをはかる。全長さ東西に9.2mをはかる。
- 埋土** 人為堆積。A層～G層に大別される。A層・B層・D層・F層は黒色土～褐色土、C層・E層・G層はにぶい黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。A層・B層はカーボン・土器などを含む。
- 柱穴** 柱穴20口を検出した。規模は上端が0.06m～0.1m、深さ0.15m～0.25cmをはかる。
- 出土遺物** かわらけ

SA-02 堀跡 (第11図)

- 位置** 調査区東側 平面形 直線状に東西に延びる。重複関係 SK-03を切る。P338・P340に切られる。
- 検出面** 褐色シルト層上面 **掘込面** 削平 **壁の状況** ほぼ垂直に立ち上がる。
- 規模** 幅上端0.43m～0.6m、幅下端0.37m～0.48m、検出面から底面までの深さは0.45m～0.53mをはかる。全長は東西に3.6mをはかる。
- 埋土** 自然堆積。A層～D層に大別される。A層～D層は黒色土～褐色土を主体とする。A層はカーボン・土器を含む。
- 出土遺物** かわらけ



第11図 SA-01・SA-02 堀跡

SK-01 土坑跡 (第12図)

位置 調査区北東側 平面形 不整楕円形 重複関係 SA-01を切る。
検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 ほぼ垂直に立ち上がる。
規模 幅上端 0.67m ~ 1.52m、幅下端 0.23m ~ 1.45m、検出面から底面までの深さは 0.64m
をはかる。
埋土 人為堆積。A層～D層に大別し、A層は2層に細分する。A層～D層は黒色土～褐色
土を主体とする。
出土遺物 丸太

SK-02 土坑跡 (第12図)

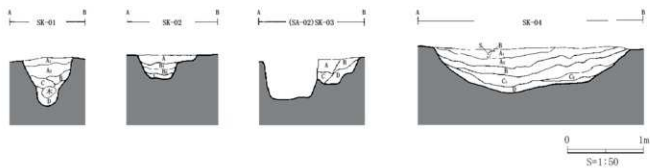
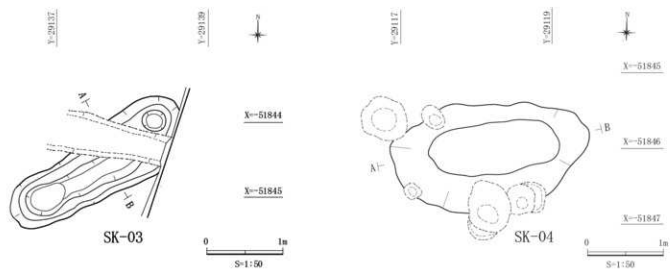
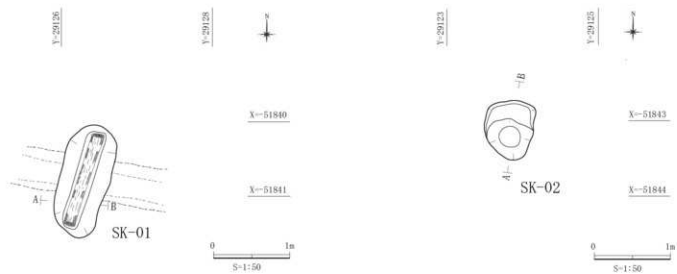
位置 調査区東側 平面形 楕円形 重複関係 なし
検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 外傾して立ち上がる。
規模 幅上端 0.63m ~ 0.79m、幅下端 0.27m ~ 0.3m、検出面から底面までの深さは 0.33mを
はかる。
埋土 自然堆積。A層～C層に大別し、B層は2層に細分する。A層・B層は黒色土～黒褐色土、
C層は黄褐色土を主体とする。A層は土器を含む。
出土遺物 かわらけ

SK-03 土坑跡 (第12図)

位置 調査区東側 平面形 不整楕円形 重複関係 SA-02に切られる。
検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 外傾して立ち上がる。
規模 幅上端 0.77m ~ 2.68m、幅下端 0.61m ~ 2.39m、検出面から底面までの深さは 0.34m
をはかる。
埋土 人為堆積。A層～D層に大別する。A層～C層は黒色土～褐色土、D層は明黄褐色土
を主体とする。A層・B層はカーボン・土器などを含む。
出土遺物 かわらけ

SK-04 土坑跡 (第12図)

位置 調査区中央 平面形 不整楕円形 重複関係 SB-03・SB-04・SB-05・SB-08
に切られる。
検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 緩やかに立ち上がる。
規模 幅上端 1.48m ~ 2.58m、幅下端 0.69m ~ 1.63m、検出面から底面までの深さは 0.6mを
はかる。
埋土 自然堆積。A層～D層に大別し、A層・C層は2層に細分する。A層～C層は黒色土
～暗褐色土、D層は明黄褐色土を主体とする。
出土遺物 かわらけ



第 12 図 SK-01 ~ SK-04 土坑跡

SA-01 ベルト①

A	黒色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B1	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
B2	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
C	にぶい黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
D1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
F1	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F2	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G	明黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは軟。砂を含む。

SA-01 ベルト②

A1	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボンを含む。
B	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C1	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
C2	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
D1	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
D2	明黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F1	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
F2	黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
G	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H1	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H2	にぶい黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SA-02

A1	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
A2	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
B1	黒褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
B2	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D1	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D2	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

SK-01

A1	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
A2	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B	黒褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
C	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

SK-02

A	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
B1	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B2	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C	黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

SK-03

A	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
B	褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
C	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SK-04

A1	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
A2	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C2	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

表2 埋土注記一覧表

P1～P503 柱穴 (表3)

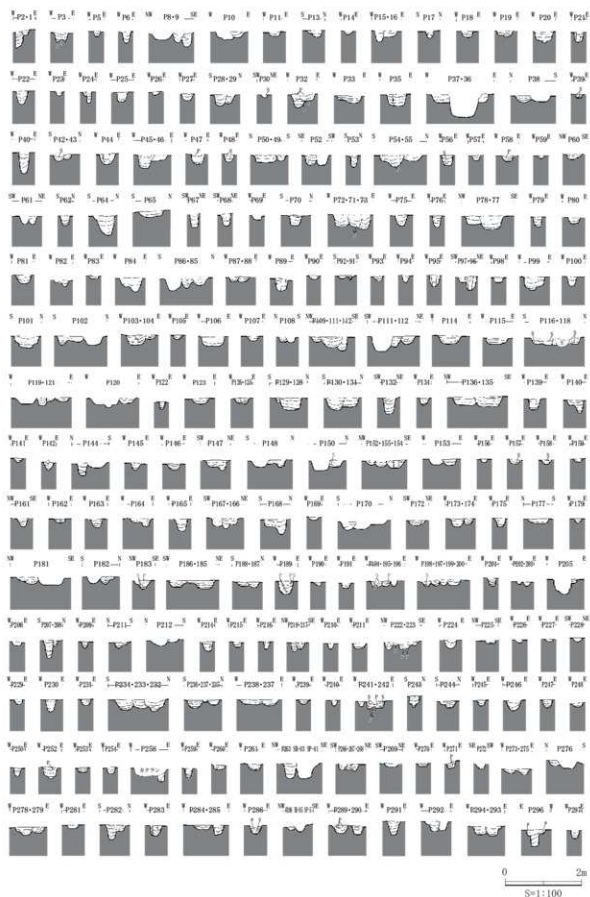
柱穴は411口を検出した。柱痕跡持つ柱穴は17口ある。その他は明確な柱痕跡を残すものはなかった。各柱穴の深さは表3の通りである

No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)
P1	0.16	0.42	P61	0.22以上	0.22	P120	0.43	0.16	P187	0.32	0.14
P2	0.22	0.13	P62	0.28	0.26	P121	0.40以上	0.12	P188	0.28	0.09
P3	0.40	0.26	P64	0.61	0.52	P122	0.17	0.20	P189	0.40	0.34
P5	0.20	0.14	P65	0.69	0.17	P123	0.48	0.16	P190	0.20	0.08
P6	0.28	0.31	P67	0.27	0.35	P125	0.25	0.17	P191	0.26	0.14
P8	0.33	0.24	P68	0.29	0.34	P126	0.15以上	0.14	P194	0.30	0.14
P9	0.20以上	0.35	P69	0.27	0.10	P128	0.58	0.33	P195	0.20	0.13
P10	0.33	0.15	P70	0.38	0.29	P129	0.12以上	0.12	P196	0.18	0.14
P11	0.33	0.12	P71	0.38	0.34	P130	0.49	0.33	P197	0.25	0.17
P13	0.42	0.18	P72	0.39以上	0.32	P131	0.38以上	0.24	P198	0.26	0.13
P14	0.24	0.10	P73	0.24以上	0.40	P132	0.37	0.43	P199	0.21	0.16
P15	0.25	0.29	P75	0.29	0.29	P134	0.24	0.17	P200	0.33	0.15
P16	0.37以上	0.17	P76	0.26	0.32	P135	0.74	0.26	P201	0.23	0.21
P17	0.24	0.19	P77	0.70	0.36	P136	0.57以上	0.23	P202	0.14	0.06
P18	0.32	0.16	P78	0.37以上	0.23	P139	0.32	0.28	P203	0.20	0.11
P19	0.43	0.17	P79	0.24	0.29	P140	0.43	0.33	P205	0.15	0.10
P20	0.50	0.28	P80	0.33	0.19	P141	0.23	0.10	P206	0.26	0.10
P21	0.27	0.27	P81	0.42	0.23	P142	0.25	0.22	P207	0.27	0.48
P22	0.32	0.37	P82	0.43	0.18	P144	0.27以上	0.32	P208	0.11以上	0.14
P23	0.19	0.13	P83	0.26	0.10	P145	0.26	0.18	P209	0.17	0.15
P24	0.25	0.31	P84	0.60	0.38	P146	0.35	0.16	P211	0.36	0.15
P25	0.30	0.28	P85	0.47	0.21	P147	0.58	0.27	P212	0.24	0.07
P26	0.20	0.10	P86	0.25以上	0.27	P148	0.47以上	0.19	P214	0.27	0.25
P27	0.32	0.18	P87	0.27	0.14	P150	0.34以上	0.18	P215	0.24	0.13
P28	0.36	0.32	P88	0.28	0.15	P152	0.25	0.11	P216	0.15	0.20
P29	0.24以上	0.25	P89	0.36	0.33	P153	0.38	0.15	P217	0.23	0.17
P30	0.19	0.09	P90	0.27	0.10	P154	0.50	0.19	P218	0.13	0.23
P32	0.68	0.38	P91	0.24	0.13	P155	0.28以上	0.15	P220	0.16	0.15
P33	0.68	0.19	P92	0.23以上	0.08	P156	0.17	0.08	P221	0.35	0.14
P35	0.55	0.31	P93	0.27	0.13	P157	0.29	0.10	P222	0.24	0.18
P36	0.27以上	0.24	P94	0.20	0.18	P158	0.26	0.10	P223	0.65以上	0.19
P37	0.49以上	0.22	P95	0.28	0.32	P159	0.24	0.08	P224	0.31	0.21
P38	0.43以上	0.19	P96	0.31	0.37	P161	0.29	0.21	P225	0.29	0.08
P39	0.22	0.12	P97	0.18以上	0.15	P162	0.30	0.09	P226	0.20	0.07
P40	0.31	0.58	P98	0.28	0.14	P163	0.30	0.22	P227	0.22	0.06
P42	0.32	0.16	P99	0.57	0.37	P164	0.55	0.19	P228	0.25	0.10
P43	0.17以上	0.13	P100	0.27	0.25	P165	0.35	0.31	P229	0.22	0.12
P44	0.46	0.29	P101	0.67	0.32	P166	0.43	0.26	P230	0.27	0.31
P45	0.45	0.34	P102	0.71	0.23	P167	0.27以上	0.20	P231	0.27	0.16
P46	0.35以上	0.16	P103	0.53	0.26	P168	0.53	0.39	P232	0.56	0.31
P47	0.36	0.28	P104	0.27	0.12	P169	0.26	0.07	P233	0.33以上	0.22
P48	0.29	0.21	P105	0.28	0.13	P170	0.42	0.20	P234	0.45以上	0.27
P49	0.28	0.16	P106	0.64	0.24	P172	0.45	0.12	P235	0.33	0.12
P50	0.58	0.19	P107	0.32	0.13	P173	0.36	0.20	P236	0.42	0.21
P52	0.33以上	0.26	P108	0.17	0.16	P174	0.24	0.14	P237	0.46	0.15
P53	0.27	0.29	P109	0.23以上	0.13	P175	0.30	0.22	P238	0.56	0.12
P54	0.66	0.31	P111	0.61	0.29	P177	0.57	0.11	P239	0.24	0.10
P55	0.48以上	0.16	P112	0.15以上	0.38	P179	0.20	0.11	P240	0.15	0.14
P56	0.31	0.27	P114	0.64	0.24	P181	0.57	0.17	P241	0.17	0.12
P57	0.22	0.14	P115	0.59	0.12	P182	0.33	0.19	P242	0.49	0.17
P58	0.33	0.15	P116	0.59	0.20	P183	0.44	0.22	P243	0.27	0.23
P59	0.21	0.07	P118	0.32以上	0.17	P185	0.78	0.21	P244	0.45	0.17
P60	0.43	0.13	P119	0.80	0.21	P186	0.45	0.16	P245	0.24	0.14

表3 柱穴計測一覧表 (1/2)

No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)
P246	0.40	0.26	P317	0.25以上	0.21	P388	0.27	0.25	P456	0.38	0.37
P247	0.26	0.21	P319	0.45	0.18	P389	0.52	0.20	P457	0.53	0.24
P248	0.28	0.10	P320	0.32以上	0.50	P391	0.27	0.32	P458	0.36以上	0.22
P250	0.20	0.21	P321	0.37以上	0.21	P393	0.26	0.26	P460	0.31	0.24
P252	0.37	0.29	P322	0.29	0.15	P394	0.40	0.27	P461	0.25	0.07
P253	0.27	0.12	P323	0.37	0.14	P395	0.38	0.32	P462	0.20	0.11
P254	0.22	0.17	P324	0.48	0.13	P396	0.27	0.31	P463	0.31以上	0.15
P258	0.20	0.19	P326	0.38	0.17	P397	0.26	0.22	P466	0.26	0.27
P259	0.19	0.23	P327	0.55	0.16	P398	0.31	0.25	P468	0.67	0.10
P260	0.32	0.11	P329	0.38	0.24	P399	0.32	0.27	P469	0.28	0.15
P261	0.36	0.15	P330	0.21以上	0.16	P400	0.24	0.24	P470	0.65	0.40
P263	0.36	0.38	P331	0.28	0.10	P401	0.37	0.18	P471	0.11以上	0.17
P266	0.23	0.15	P332	0.43以上	0.12	P404	0.28	0.25	P472	0.15	0.08
P267	0.20	0.17	P333	0.25	0.25	P407	0.27	0.25	P473	0.44	0.30
P268	0.11	0.15	P334	0.47	0.36	P408	0.39	0.25	P474	0.28	0.11
P269	0.35	0.09	P336	0.23以上	0.18	P410	0.82	0.29	P475	0.23	0.15
P270	0.27	0.08	P337	0.24	0.32	P411	0.30	0.21	P476	0.34	0.27
P271	0.26	0.15	P338	0.27	0.11	P414	0.28	0.22	P477	0.23	0.14
P272	0.25	0.13	P339	0.46	0.10	P415	0.25	0.15	P478	0.27	0.32
P273	0.37	0.12	P340	0.47	0.19	P416	0.18	0.12	P479	0.48	0.26
P275	0.32以上	0.14	P342	0.28	0.13	P418	0.28	0.09	P480	0.29	0.21
P276	0.23以上	0.14	P343	0.42	0.12	P419	0.37	0.30	P481	0.37	0.20
P278	0.46	0.21	P344	0.33	0.10	P420	0.34	0.10	P482	0.50	0.15
P279	0.31以上	0.15	P346	0.50	0.27	P421	0.19	0.12	P483	0.55	0.20
P281	0.30	0.09	P348	0.25	0.24	P423	0.14	0.20	P484	0.35	0.10
P282	0.54	0.38	P349	0.57	0.11	P424	0.17以上	0.15	P485	0.28	0.20
P283	0.33	0.26	P350	0.38以上	0.12	P425	0.49	0.15	P486	0.97	0.27
P284	0.48	0.11	P351	0.22	0.19	P426	0.36	0.12	P487	0.53以上	0.35
P285	0.31	0.25	P354	0.24	0.10	P427	0.45	0.15	P488	0.48	0.25
P286	0.32	0.21	P355	0.43	0.20	P428	0.40	0.10	P489	0.34	0.18
P288	0.18以上	0.09	P358	0.35	0.15	P429	0.33	0.22	P490	0.22	0.15
P289	0.46	0.21	P361	0.42	0.14	P430	0.28以上	0.34	P491	0.60	0.25
P290	0.32	0.22	P362	0.67	0.20	P431	0.39	0.16	P492	0.34以上	0.21
P291	0.35	0.35	P363	0.37	0.20	P432	0.24以上	0.16	P493	0.34以上	0.21
P292	0.38	0.25	P364	0.31	0.08	P434	0.26	0.23	P494	0.31以上	0.11
P293	0.43	0.25	P365	0.26	0.11	P435	0.18	0.07	P495	0.32	0.10
P294	0.32以上	0.20	P366	0.28	0.07	P436	0.32	0.13	P496	0.33	0.11
P296	0.51	0.43	P367	0.50	0.24	P438	0.24	0.17	P497	0.40	0.43
P297	0.22	0.21	P370	0.79	0.27	P441	0.27	0.11	P498	0.56	0.36
P299	0.71	0.25	P371	0.30	0.17	P442	0.35	0.40	P499	0.32	0.35
P300	0.59	0.16	P373	0.20	0.11	P443	0.40	0.27	P500	0.21以上	0.10
P301	0.44	0.13	P374	0.23	0.25	P444	0.33	0.15	P501	0.35以上	0.38
P302	0.38	0.10	P375	0.26	0.08	P445	0.37	0.15	P503	0.22	0.34
P303	0.95	0.27	P376	0.25	0.14	P446	0.35	0.12			
P304	0.68	0.32	P377	0.42	0.16	P447	0.30	0.22			
P306	0.78	0.50	P378	0.14	0.15	P448	0.38	0.25			
P307	0.48以上	0.41	P380	0.25	0.12	P449	0.56	0.23			
P308	0.35	0.23	P381	0.40	0.12	P450	0.25	0.29			
P311	0.31	0.15	P384	0.51	0.19	P452	0.25	0.20			
P312	0.25	0.16	P385	0.28以上	0.23	P453	0.23	0.25			
P313	0.20	0.10	P386	0.36	0.28	P454	0.22	0.15			
P316	0.58	0.54	P387	0.28以上	0.17	P455	0.28	0.41			

表3 柱穴計測一覧表 (2/2)



第 13 图 P1 ~ P297 柱穴断面图



第 14 图 P299 ~ P503 柱穴断面图

(2) 出土遺物 (第15図～第19図)

今回の調査で、かわらけ、国産陶器、中国産陶磁器、鉄製品、石製品、古銭、その他を中コンテナで30箱出土した。その内の実測可能な133点を図化し掲載した。

1) かわらけ

SB-01 掘立柱建物跡から14点。1～12はロクロ成形で、口径が7.8cm～14.6cm、13・14は手づくねで、口径が7.2cm～8.5cmをはかる。SB-02 掘立柱建物跡から7点。15～21はロクロ成形で、口径が8.8cm～14.7cmをはかる。SB-03 掘立柱建物跡から4点。22～25はロクロ成形で、口径が8.0cm～14.6cmをはかる。SB-06 掘立柱建物跡から4点。26・27はロクロ成形で、口径が9.0cm～13.0cm、28・29は手づくねで、口径が12.0cm～13.0cmをはかる。SB-07 掘立柱建物跡から4点。30～33はロクロ成形で、口径が8.4cm～13.8cmをはかる。SB-08 掘立柱建物跡から4点。34～37はロクロ成形で、口径が7.9cm～9.7cmをはかる。Pitから12点。38～44はロクロ成形で、口径が7.3cm～14.4cmをはかる。45～48は手づくねで、口径が7.2cm～8.5cmをはかる。検出面から12点。53～62はロクロ成形で、口径が6.0cm～14.5cm、63～65は手づくねで、口径が6.8cm～10.4cmをはかる。II層から51点。70～100はロクロ成形で、口径が6.9cm～15.6cmをはかる。100は耳皿である。101～120は手づくねで、口径が7.0cm～15.0cmをはかる。

2) 土師器

検出面から1点。60は土師器坏で、口径が13.5cmをはかる。口縁部にヨコナデ、内面にヘラナデを施す。

3) 国産陶器

P408から1点。51は産地不明の壺の体部である。検出面から3点。66・67は大堀相馬産碗と皿の体部、68は肥前産染付皿の口～体部である。II層から2点。121は肥前産染付皿の底部、123は常滑産広口壺の体部である。

4) 中国産磁器

P15から1点。50は白磁 碗の体部である。P387から1点。52は青磁 壺の体部で二次焼成を受けている。II層から2点。122は白磁 四耳壺の体部、124は青磁 皿の口～体部である。

5) 鉄製品

検出面から1点。69は角釘で、先端の一部が欠損し頭部の形状は平頭釘である。長さ5.9cmをはかる。

6) 石製品

II層から1点。125は砥石で、3面を使用する。断面が四角形の棒状である。石材は粘板岩である。

7) 古銭

II層から8点。126・127は明銭で永楽通寶(1408年始鑄)である。128・129は北宋銭で元豊通寶(1078年始鑄)である。130・131は北宋銭で皇宗通寶(1039年始鑄)である。132・133は北宋銭で明道元寶(1032年始鑄)である。また書体は、128・130・132は真書体、129・131・133は篆書体であった。

かわらけ

番号	遺構名	出土位置	成形	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	残存率(%)	備考
1	SB-01 SP-07	C層	ロクロ	7.8	5.6	1.3	45	回転糸切り再調整
2	SB-01 SP-11	A層	ロクロ	7.8	5.7	1.5	30	回転糸切り再調整
3	SB-01 SP-08	A層	ロクロ	8.0	5.8	1.4	50	回転糸切り無調整
4	SB-01 SP-07	B層	ロクロ	8.6	6.8	1.5	70	回転糸切り無調整
5	SB-01 SP-06	A1層	ロクロ	7.8	5.0	2.6	25	回転糸切り無調整
6	SB-01 SP-07	D層	ロクロ	7.8	6.0	2.0	40	回転糸切り無調整
7	SB-01 SP-07	B層	ロクロ	8.3	6.6	2.4	80	回転糸切り再調整
8	SB-01 SP-12	A1層	ロクロ	14.0	7.1	3.9	60	回転糸切り無調整
9	SB-01 SP-08	B層	ロクロ	8.9	6.8	1.1	20	回転糸切り再調整
10	SB-01 SP-06	A1層	ロクロ	10.0	8.7	1.4	25	回転糸切り再調整
11	SB-01 SP-07	B層	ロクロ	8.6	6.4	2.0	95	回転糸切り無調整
12	SB-01 SP-13	A層	ロクロ	14.6	6.8	3.2	85	回転糸切り無調整
13	SB-01 SP-07	C1層	手づくね	7.2	-	1.7	25	-
14	SB-01 SP-16	C2層	手づくね	8.5	-	1.3	30	-
15	SB-02 SP-06	A1層	ロクロ	8.8	6.8	1.7	35	回転糸切り無調整
16	SB-02 SP-06	A2層	ロクロ	14.0	8.4	3.9	40	回転糸切り無調整
17	SB-02 SP-14	A層	ロクロ	14.6	8.1	3.3	35	回転糸切り無調整
18	SB-02 SP-06	A2層	ロクロ	9.1	7.2	1.9	25	回転糸切り無調整
19	SB-02 SP-03	A層	ロクロ	9.2	6.0	2.2	100	回転糸切り無調整スノコ痕
20	SB-02 SP-14	B1層	ロクロ	14.7	8.3	3.4	100	回転糸切り無調整
21	SB-02 SP-14	B2層	ロクロ	13.9	8.2	4.3	95	回転糸切り無調整
22	SB-03 SP-02	A層	ロクロ	8.0	5.0	1.7	40	回転糸切り無調整スノコ痕
23	SB-03 SP-02	A層	ロクロ	9.6	7.6	1.8	30	回転糸切り無調整
24	SB-03 SP-02	C層	ロクロ	8.8	2.1	7.5	30	回転糸切り無調整
25	SB-03 SP-10	A層	ロクロ	14.6	-	-	25	回転糸切り無調整
26	SB-06 SP-08	B層	ロクロ	9.0	6.8	2.0	80	回転糸切り再調整
27	SB-06 SP-08	A層	ロクロ	9.9	7.0	3.3	25	回転糸切り再調整
28	SB-06 SP-08	A層	手づくね	12.0	-	3.0	45	-
29	SB-06 SP-08	B層	手づくね	13.0	12.0	4.0	80	-
30	SB-07 SP-01	B層	ロクロ	8.4	7.2	2.2	80	回転糸切り無調整
31	SB-07 SP-01	A層	ロクロ	8.8	6.4	2.1	90	回転糸切り無調整
32	SB-07 SP-06	A1層	ロクロ	9.6	6.9	2.0	95	回転糸切り再調整
33	SB-07 SP-01	C層	ロクロ	13.8	7.6	3.1	40	回転糸切り無調整
34	SB-08 SP-01	B層	ロクロ	7.9	5.1	2.1	90	回転糸切り無調整
35	SB-08 SP-01	D層	ロクロ	9.2	6.8	1.9	75	回転糸切り再調整
36	SB-08 SP-01	D層	ロクロ	9.6	6.4	1.9	60	回転糸切り再調整
37	SB-08 SP-01	D層	ロクロ	9.7	8.1	1.9	30	回転糸切り無調整
38	P135	A層	ロクロ	7.7	5.4	1.9	25	回転糸切り無調整
39	P170	A1層	ロクロ	7.3	4.9	1.9	25	回転糸切り再調整
40	P456	A1層	ロクロ	8.8	7.0	1.3	20	回転糸切り無調整
41	P344	A層	ロクロ	8.5	5.3	2.1	25	回転糸切り無調整
42	P68	A1層	ロクロ	12.8	6.4	4.5	30	回転糸切り無調整
43	P186	A層	ロクロ	13.0	7.7	4.2	35	回転糸切り無調整
44	P185	A1層	ロクロ	14.4	7.0	4.5	70	回転糸切り無調整
45	P28	B層	手づくね	8.1	-	2.3	40	-
46	P32	A1層	手づくね	8.2	-	2.0	30	-
47	P32	A2層	手づくね	10.0	-	1.6	35	-
48	P28	A2層	手づくね	9.7	-	2.6	40	-
49	P32	C層	手づくね	10.7	-	2.3	30	-
53	-	検出面	ロクロ	6.0	4.0	1.5	20	回転糸切り無調整
54	-	検出面	ロクロ	6.1	4.0	1.6	20	回転糸切り再調整

表4 出土遺物一覧表(1/3)

番号	遺構名	出土位置	成形	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	残存率(%)	備考
55	-	検出面	ロクロ	6.5	2.2	5.3	20	回転糸切り無調整
56	-	検出面	ロクロ	8.5	4.0	2.8	25	回転糸切り無調整
57	-	検出面	ロクロ	8.2	2.2	6.0	30	回転糸切り無調整
58	-	検出面	ロクロ	9.0	6.6	1.9	99	回転糸切り無調整
59	-	検出面	ロクロ	9.2	2.1	6.0	80	回転糸切り無調整
61	-	検出面	ロクロ	14.2	8.0	3.7	45	回転糸切り再調整・スノコ皿
62	-	検出面	ロクロ	14.5	4.0	8.6	70	回転糸切り無調整
63	-	検出面	手づくね	6.8	-	1.3	30	-
64	-	検出面	手づくね	7.8	-	2.1	35	-
65	-	検出面	手づくね	10.4	-	2.5	30	-
70	-	Ⅱ層	ロクロ	6.9	4.3	1.6	30	回転糸切り再調整
71	-	Ⅱ層	ロクロ	7.6	5.2	1.6	80	回転糸切り再調整
72	-	Ⅱ層	ロクロ	7.9	6.0	1.7	25	回転糸切り無調整
73	-	Ⅱ層	ロクロ	8.0	1.6	6.0	35	回転糸切り無調整
74	-	Ⅱ層	ロクロ	8.3	6.8	1.7	75	回転糸切り無調整
75	-	Ⅱ層	ロクロ	8.7	5.8	1.9	95	回転糸切り無調整
76	-	Ⅱ層	ロクロ	8.6	6.0	1.7	80	回転糸切り無調整
77	-	Ⅱ層	ロクロ	8.6	1.5	6.2	30	回転糸切り無調整
78	-	Ⅱ層	ロクロ	7.8	5.9	1.6	80	回転糸切り再調整
79	-	Ⅱ層	ロクロ	9.0	6.2	2.0	90	回転糸切り無調整
80	-	Ⅱ層	ロクロ	9.0	7.0	2.2	95	回転糸切り無調整
81	-	Ⅱ層	ロクロ	9.0	6.6	2.1	100	回転糸切り無調整
82	-	Ⅱ層	ロクロ	8.3	5.9	1.9	85	回転糸切り無調整
83	-	Ⅱ層	ロクロ	8.6	6.7	1.9	85	回転糸切り再調整
84	-	Ⅱ層	ロクロ	8.9	7.0	2.0	70	回転糸切り無調整
85	-	Ⅱ層	ロクロ	8.8	7.4	1.8	30	回転糸切り無調整
86	-	Ⅱ層	ロクロ	10.0	8.0	1.7	65	回転糸切り無調整
87	-	Ⅱ層	ロクロ	9.0	7.2	1.8	30	回転糸切り無調整
88	-	Ⅱ層	ロクロ	8.8	6.0	1.8	70	回転糸切り無調整
89	-	Ⅱ層	ロクロ	7.2	6.9	1.7	60	回転糸切り無調整
90	-	Ⅱ層	ロクロ	8.9	2.1	6.0	65	回転糸切り無調整
91	-	Ⅱ層	ロクロ	9.6	7.8	2.3	50	回転糸切り無調整
92	-	Ⅱ層	ロクロ	13.1	3.5	6.7	70	回転糸切り再調整
93	-	Ⅱ層	ロクロ	12.8	3.7	7.9	60	回転糸切り無調整
94	-	Ⅱ層	ロクロ	13.5	4.3	7.2	65	回転糸切り無調整
95	-	Ⅱ層	ロクロ	12.6	5.6	3.6	40	回転糸切り無調整
96	-	Ⅱ層	ロクロ	14.2	8.5	4.1	95	回転糸切り無調整
97	-	Ⅱ層	ロクロ	13.9	8.1	4.1	60	回転糸切り無調整
98	-	Ⅱ層	ロクロ	14.4	8.2	4.0	55	回転糸切り再調整
99	-	Ⅱ層	ロクロ	15.6	9.6	4.1	45	回転糸切り無調整
100	-	Ⅱ層	ロクロ	9.6	7.0	2.5	65	回転糸切り無調整・耳皿
101	-	Ⅱ層	手づくね	7.2	-	1.7	40	指頭正帆
102	-	Ⅱ層	手づくね	7.4	-	5.0	35	-
103	-	Ⅱ層	手づくね	7.0	-	6.0	20	-
104	-	Ⅱ層	手づくね	7.9	-	4.0	25	-
105	-	Ⅱ層	手づくね	8.0	6.6	2.0	100	-
106	-	Ⅱ層	手づくね	8.4	-	4.1	30	-
107	-	Ⅱ層	手づくね	8.1	-	1.5	40	-
108	-	Ⅱ層	手づくね	8.2	-	1.7	20	-
109	-	Ⅱ層	手づくね	8.2	-	1.8	45	-
110	-	Ⅱ層	手づくね	8.0	-	1.8	30	-
111	-	Ⅱ層	手づくね	8.8	-	5.0	25	-
112	-	Ⅱ層	手づくね	9.8	-	2.3	45	-

表4 出土遺物一覧表(2/3)

番号	遺構名	出土位置	成形	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	残存率(%)	備 考
113	-	Ⅱ層	手づくね	113	-	6.0	30	-
114	-	Ⅱ層	手づくね	126	-	2.4	35	-
115	-	Ⅱ層	手づくね	126	-	3.0	35	-
116	-	Ⅱ層	手づくね	130	9.5	3.5	95	-
117	-	Ⅱ層	手づくね	126	-	2.3	25	-
118	-	Ⅱ層	手づくね	134	-	2.9	65	-
119	-	Ⅱ層	手づくね	135	-	3.0	40	-
120	-	Ⅱ層	手づくね	15.0	-	3.0	60	-

土師器

番号	遺構名	出土位置	機種名	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	残存率(%)	備 考
60	-	検出面	坏	132	6.3	2.4	50	回転系切り無調整

国産陶器

番号	遺構名	出土位置	器種名	部位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	備 考
51	P408	A層	壺	体部	2	3.1	0.9	-
66	-	検出面	碗	体部	2.2	3.3	0.4	大堀相馬産
67	-	検出面	皿	体部	4.2	3.7	0.9	大堀相馬産
68	-	検出面	皿	口～体部	3.2	4.4	0.3	肥前産染付
121	-	Ⅱ層	皿	底部	-	底径4.6	-	肥前産染付
123	-	Ⅱ層	広口壺	体部	3.1	3.0	0.7	常滑産

中国産磁器

番号	遺構名	出土位置	器種名	部位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	備 考
50	P15	A層	碗	体部	1.5	2.5	0.3	白磁
52	P387	B層	壺	体部	2.9	5.4	1.3	青磁・二次焼成
122	-	Ⅱ層	四耳壺	体部	4.1	2.8	0.6	白磁
124	-	Ⅱ層	皿	口～体部	2.1	2.4	0.5	青磁

鉄製品

番号	遺構名	出土位置	器種名	長さ(cm)	頭部幅(cm)	厚さ(cm)	残存率(%)	備 考
69	-	検出面	角釘	5.9	0.8	0.4	-	-

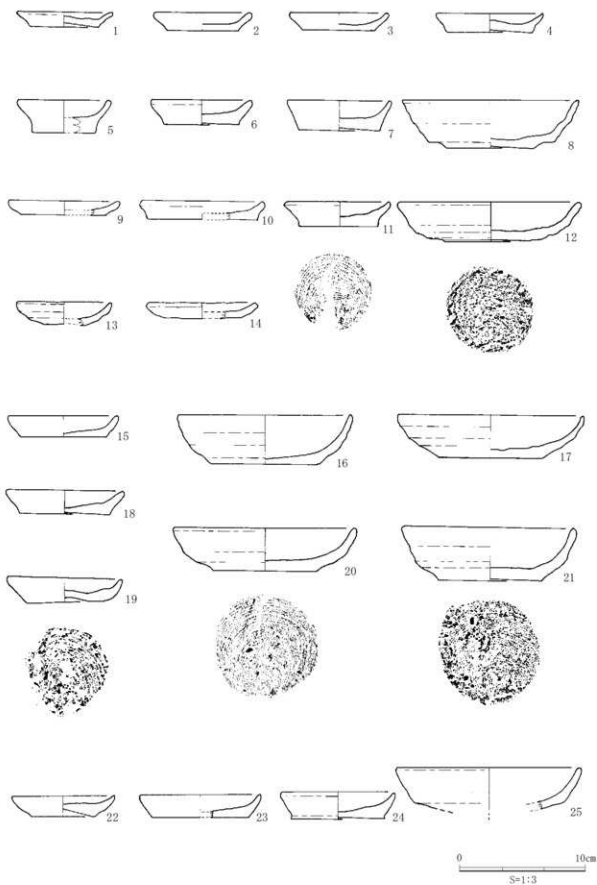
石製品

番号	遺構名	出土位置	器種名	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	残存率(%)	備 考
125	-	Ⅱ層	砥石	14.2	4.3	3.8	-	石材は粘板岩

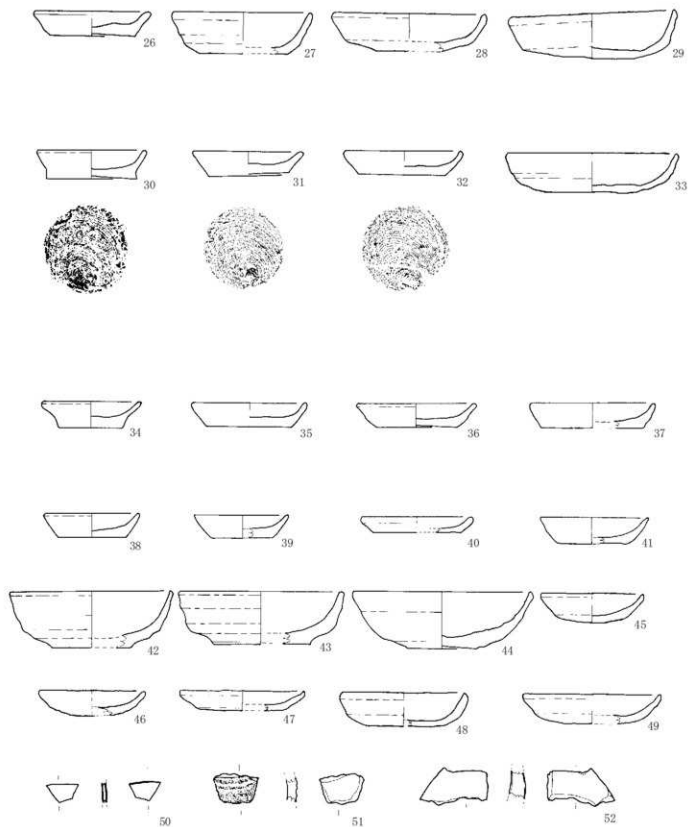
古銭

番号	遺構名	出土位置	銭名	直径(cm)	厚さ(cm)	残存率(%)	始鑄年代	備 考
126	-	Ⅱ層	水滸通寶	2.5	0.15	100	1408年代	明銭
127	-	Ⅱ層	水滸通寶	2.5	0.11	100	1408年代	明銭
128	-	Ⅱ層	元豊通寶	2.4	0.13	100	1078年代	北宋銭 真書体
129	-	Ⅱ層	元豊通寶	2.4	0.11	100	1078年代	北宋銭 篆書体
130	-	Ⅱ層	皇宗通寶	2.5	0.13	100	1039年代	北宋銭 真書体
131	-	Ⅱ層	皇宗通寶	2.5	0.13	100	1039年代	北宋銭 篆書体
132	-	Ⅱ層	明道元寶	2.5	0.16	100	1023年代	北宋銭 真書体
133	-	Ⅱ層	明道元寶	2.5	0.15	100	1023年代	北宋銭 篆書体

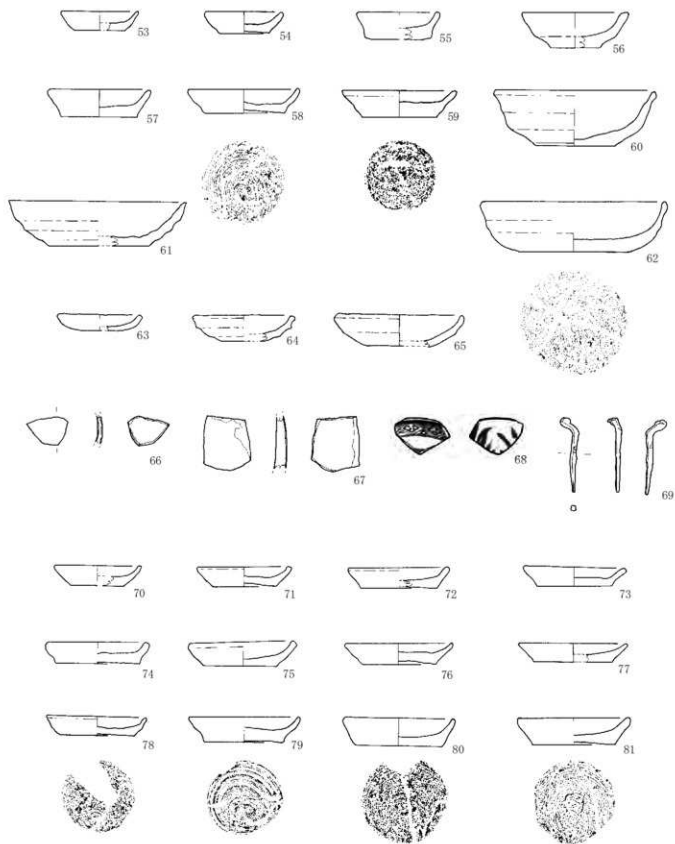
表4 出土遺物一覧表 (3/3)



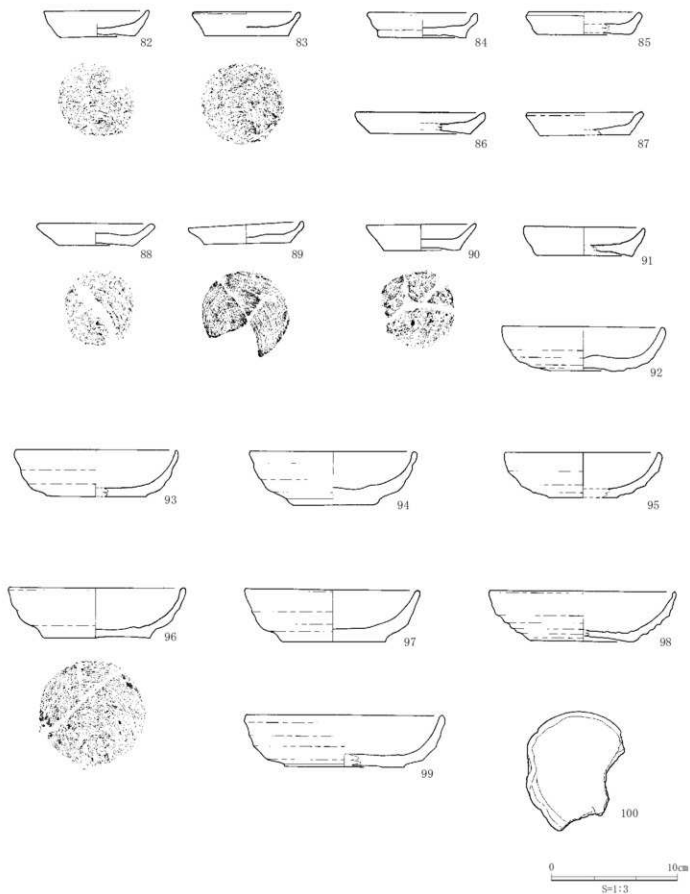
第 15 図 出土遺物 ①



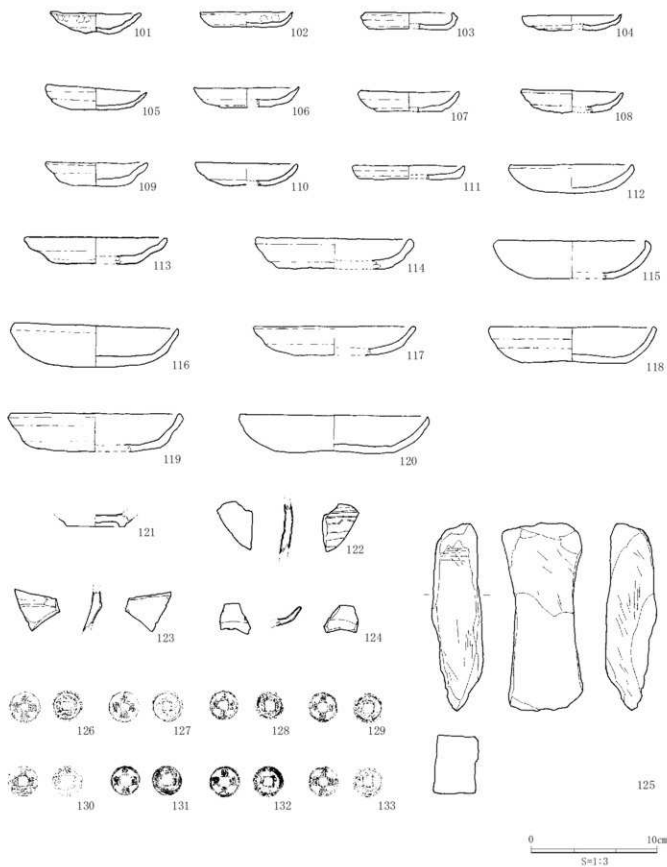
第 16 図 出土遺物②



第 17 図 出土遺物 ③



第 18 図 出土遺物 ④



第 19 図 出土遺物 ⑥

3 まとめ

南日詰大銀Ⅱ遺跡第1次調査で検出された遺構は、掘立柱建物跡8棟、堀跡2条、土坑跡4基、柱穴411口を検出した。遺物は、かわらけ、土師質土器、国産陶器、中国産陶磁器、鉄製品、その他を中コンテナで30箱出土した。

・掘立柱建物跡

掘立柱建物跡8棟を検出した。掘立柱建物跡の軸方向で分類すると、SB-01・SB-02・SB-05・SB-06 (N4°E・N5°Eの傾きを持つ)、SB-03・SB-08 (N1°Eの傾きを持つ)、SB-04 (N14°Eの傾きを持つ)、SB-07 (N11°Eの傾きを持つ)の4期にわけられる。

SB-01は4間×2間に二面庇を有する。規模は母屋南北4間8.6m(28尺7寸)、東西2間4.41m(14尺7寸)をはかる。SB-01の西側及び北東側が調査区外のため、検出できなかったが、四面庇になる可能性が高い。SB-02は4間×2間に三面庇を有する。規模は母屋南北2間4.54m(15尺1寸)、東西1間2.1m(7尺)をはかる。SB-02の西側が調査区外のため、検出できなかったが、四面庇になる可能性が高い。SB-03は4間×2間である。規模は南北4間8.7m(29尺)、東西2間3.75m(12尺5寸)をはかる。SB-04は2間×2間である。規模は北西—南東2間4.76m(15尺9寸)、南西—北東2間4.04m(13尺5寸)をはかる。SB-05は3間×2間である。規模は南北間8.33m(27尺8寸)、東西2間4.22m(14尺1寸)をはかる。SB-06は4間×1間である。規模は西東4間5.9m(19尺7寸)、北南1間1.8m(6尺)をはかる。SB-07は2間×2間である。規模は北東—南西2間5.1m(17尺)、北西—南東2間5.09m(17尺)をはかる。SB-08は5間×2間に一面庇を有する。規模は母屋東西5間10.6m(35尺3寸)、南北2間4.76m(15尺9寸)をはかる。カクランに壊され検出できなかったが、二面庇になる可能性が高い。以上のことから、格式の高い四面庇掘立柱建物跡や多くの掘立柱建物跡が発見されたことで、複数の時期に渡って建替えが行われ、位の高い人物が住んでいたと想定される。また、いずれも埋土からかわらけが出土していることから、12世紀の遺構と推測する。

・堀跡

堀跡2条を検出した。SA-01の幅上端は60cm前後、深さ0.7m前後で、全長が9.2mをはかる。形状は壁が垂直に近い逆台形を呈し、布堀が施されている。柱穴跡は、西端から東側の3.6m間だけに検出され、それ以降は確認できなかった。SA-02の幅上端は60cm前後、深さ0.5m前後で、全長が3.6mをはかる。形状は壁が垂直に近い逆台形を呈し、布堀が施されている。柱穴跡は確認できなかった。今回発見した堀跡の新旧関係はわからないが、2条平行していることがわかった。また、幅上端が0.6m前後をはかる規模を持つ堀跡は、比瓦館跡からも発見されておらず、より強固な堀が構築されていたと窺える。また、いずれも埋土からかわらけが出土していることから、12世紀の遺構と推測する。

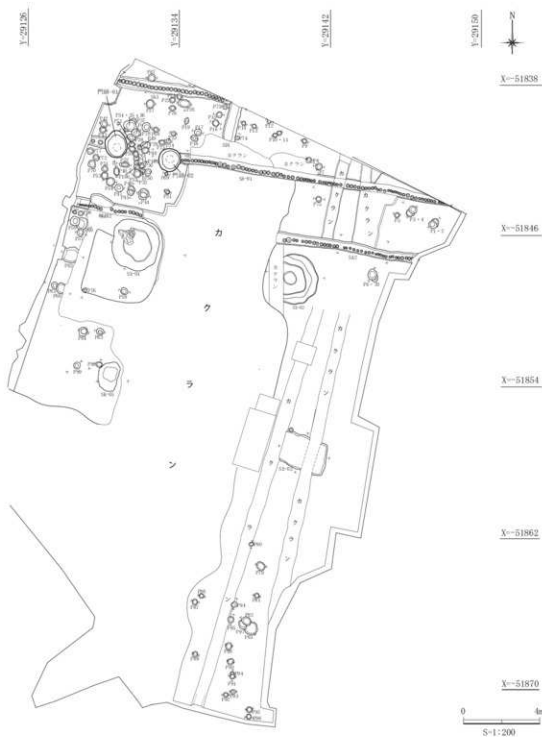
・土坑跡

土坑跡4基を検出した。SK-01の深さは0.64mをはかる。底には丸太(松材)が横たわり針金の一部が巻き付いていたことから、近世以降の遺構と推測する。SK-02の深さは0.33mをはかる。埋土からかわらけが出土していることから、12世紀の遺構と推測する。SK-03の深さは0.34mをはかる。SA-02堀跡に切られる。使用目的は不明だが、埋土からかわらけが出土していることから、12世紀の遺構と推測する。SK-04の深さは0.6mをはかる。使用目的は不明だが、SB-03・SB-04・SB-05・SB-08に切られることから、12世紀以前の遺構と推測する。

Ⅲ 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第2次調査

1 調査の概要

- 位 置 紫波、種貫衛生処理組合処理場敷地内の事務所及び東側の地点で、東西19.5m、南北29.4mを調査した。第1次調査区の東側に隣接する
- 検出遺構 塀跡3条、門跡1ヶ所、溝跡1条、土坑跡1基、柱穴101口、不明遺構3基を検出した。
- 出土遺物 土師器 坏、かわらけ、国産陶器、中国産陶磁器、鉄製品、その他。



第20図 第2次調査 遺構配置図

2 調査の成果

(1) 検出遺構

SA-01 堀跡 (第21図)

位置	調査区北側	平面形	直線状に東西に延びる。	重複関係	門跡-01・02に切られる。
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	ほぼ垂直に立ち上がる。
規模	全長14.4m、幅上端0.48m～0.6m、幅下端0.36m～0.51m、深さは0.68m～0.73mをはかる。				
埋土	人為堆積。A層～G層に大別し、E層は3層、D層・F層は2層に細分する。A層・C層・E層は黒色土～黒褐色土、B層・D層・F層・G層はにぶい黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。A層・B層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

SA-02 堀跡 (第21図)

位置	調査区北側	平面形	直線状に東西に延びる。	重複関係	なし
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	ほぼ垂直に立ち上がる。
規模	全長18.1m、幅上端0.46m～0.63m、幅下端0.32m～0.45m、深さは0.1m～0.26mをはかる。				
埋土	人為堆積。A層～H層に大別し、A層・D層・F層・H層は2層に細分する。B層・C層・E層・F層・H層は黒色土～暗褐色土、A層・D層・G層はにぶい黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。A層～F層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

SA-03 堀跡 (第21図)

位置	調査区北側	平面形	直線状に東西に延びる。	重複関係	P21・P67に切られる。
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	ほぼ垂直に立ち上がる。
規模	全長6.13m、幅上端0.56m～0.63m、幅下端0.45m～0.53m、深さは0.15m～0.18mをはかる。				
埋土	人為堆積。A層～G層に大別し、A層・B層・D層～G層は2層に細分する。A層・B層・D層・F層は黒褐色土～褐色土、C層・E層・G層は黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。A層はカーボン・土器などを含む。A層～C層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

門跡-01 (第22図)

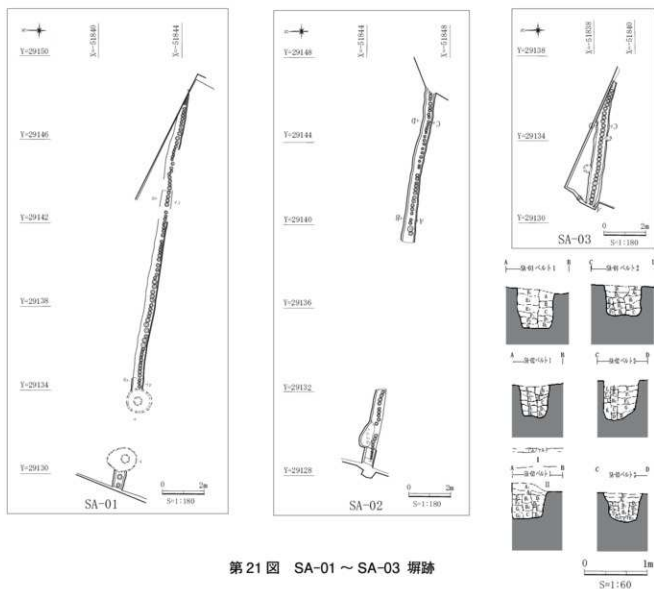
位置	調査区北側	平面形	不整形	重複関係	SA-01を切る。
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	ほぼ垂直に立ち上がる。
規模	上端1.21m～1.42m、下端1.07m～1.38m、深さは、0.63mをはかり				
埋土	人為堆積。A層～L層に大別され、C層・E層・H層・K層は2層に細分する。A層～C層・F層～K層は黒暗褐色土～褐色土、D層・E層・L層は黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。A層～C層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

門跡-02 (第22図)

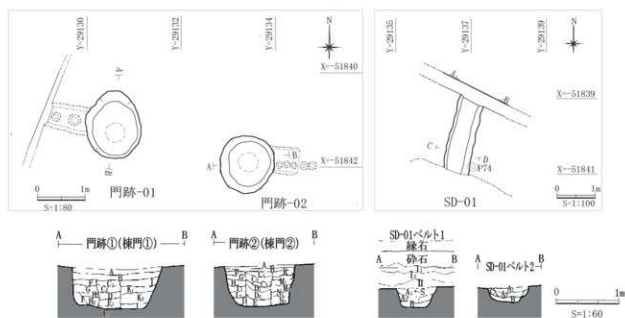
- 位置 調査区北側 平面形 円形 重複関係 SA-01を切る。
 検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 ほぼ垂直に立ち上がる。
 規模 上端1.13m～1.19m、下端1.02m～1.03m、深さは、0.64mをはかる
 埋土 人為堆積。A層～O層に大別され、C層は3層、D層・I層・M層・O層は2層に細分する。
 A層～D層・F層～H層・M層は黒暗褐色土～褐色土、E層・I層～L層・O層はに
 ぶい黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。A層～C層はカーボン・土器などを含む。
 出土遺物 かわらけ

SD-01 溝跡 (第22図)

- 位置 調査区北側 平面形 直線状に南北に延びる。 重複関係 P74を切る。
 検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 緩やかに立ち上がる。
 規模 全長1.41m、幅上端0.63m～0.71m、幅下端0.38m～0.46m、検出面から底面までの
 深さは0.31mをはかる。
 埋土 自然堆積。A層・B層に大別し、A層は2層に細分する A層・B層は黒暗褐色土～褐
 色土を主体とする。A層・B層はカーボン・土器などを含む。
 出土遺物 かわらけ



第21図 SA-01～SA-03 堀跡



第22図 門跡-01・02 SD-01 溝跡

SK-05 土坑跡 (第23図)

- 位置 調査区西隅 平面形 不整形凹形 重複関係 なし
 検出面 黄褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 ほぼ垂直に立ち上がる。
 規模 上端1.04m～1.51m、下端0.47m～0.73m、深さは0.88mをはかる。
 埋土 自然堆積。A層～F層に大別し、C層・F層は2層に細分する。A層～D層は黒褐色土～褐色土を主体、E層・F層はにぶい黄褐色土～黄褐色土を主体とする。
 出土遺物 かわらけ

SX-01 不明遺構 (第23図)

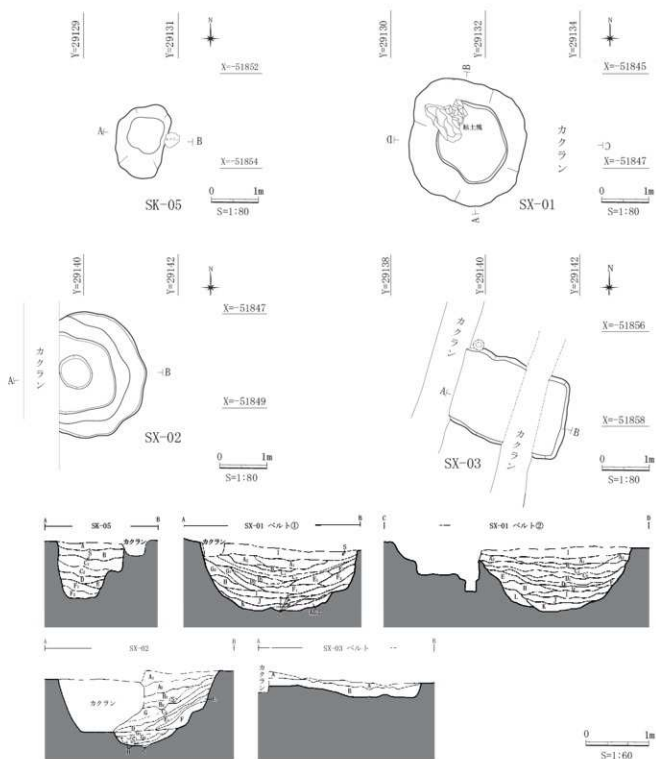
- 位置 調査区西隅 平面形 不整形凹形 重複関係 なし
 検出面 黄褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 緩やかに立ち上がる。
 規模 上端2.25m～2.84m、下端1.53m～1.78m、深さは0.86mをはかる。
 埋土 自然堆積。A層～H層に大別し、A層・C層は2層に細分する。A層～C層・F層～I層は黒色土～褐色土を主体、D層・E層・J層・K層はにぶい黄褐色土～黄褐色土を主体とする。
 出土遺物 かわらけ、国産陶器、中国産磁器

SX-02 不明遺構 (第23図)

- 位置 調査区東側 平面形 不整形凹形 重複関係 攪乱に切られる。
 検出面 黄褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 ほぼ垂直に立ち上がる。
 規模 上端は、0.87m以上～2.65m、下端は、0.64m～0.76m、深さは1.12mをはかる。
 埋土 自然堆積。A層～I層に大別し、A層～C層・E層・G層は2層に細分する。A層～C層・E層・G層は黒色土～褐色土、D層・F層・H層はにぶい黄褐色土～明黄褐色土、I層はオリブ灰を主体とする。
 出土遺物 かわらけ、中国産磁器、古銭

SX-03 不明遺構 (第23図)

位置 調査区南東側 平面形 長方形 重複関係 カクランに切られる。
 検出面 黄褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 ほぼ垂直に立ち上がる。
 規模 上端は、1.88m～2.43m以上、下端は、1.68m～2.34m、深さは0.23mをはかる。
 埋土 自然堆積。A層・B層に大別する。A層・B層は黒褐色土～暗褐色土を主体とする。
 出土遺物 なし



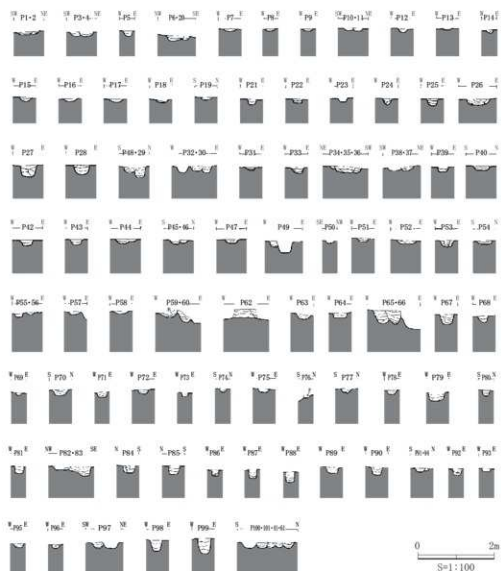
第23図 SK-05土坑跡 SX-01～SX-03不明遺構

P1～P101 柱穴 (第24回)

柱穴は101口検出した。また、P53・P84は柱痕が確認出来たが、その他の柱穴からは明確な柱痕跡を残すものはなかった。埋土は黒褐色土・暗褐色土を主体になるものが多い。各柱穴の上端と深さは表5の通りである。

No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)
P1	0.4	0.08	P36	0.15以上	0.12	P71	0.28	0.15
P2	0.16以上	0.07	P37	0.35	0.09	P72	0.27	0.11
P3	0.24以上	0.11	P38	0.35以上	0.08	P73	0.17	0.09
P4	0.4	0.12	P39	0.3	0.13	P74	0.21	0.09
P5	0.25	0.14	P40	0.45	0.11	P75	0.27	0.09
P6	47	0.13	P41	0.15以上	0.13	P76	0.18	0.07
P7	0.33	0.07	P42	0.36	0.14	P77	0.31	0.11
P8	0.22	0.08	P43	0.32	0.14	P78	0.28	0.12
P9	0.24	0.07	P44	0.57	0.11	P79	0.45	0.23
P10	0.23以上	0.08	P45	0.29	0.11	P80	0.19	0.21
P11	0.22	0.07	P46	0.2以上	0.08	P81	0.25	0.18
P12	0.24	0.09	P47	0.35	0.09	P82	0.47	0.09
P13	0.22	0.05	P48	0.35	0.13	P83	0.55以上	0.24
P14	0.21	0.09	P49	0.19以上	0.16	P84	0.34	0.19
P15	0.31	0.10	P50	0.23	0.07	P85	0.31	0.22
P16	0.35	0.07	P51	0.3	0.09	P86	0.21	0.15
P17	0.37	0.08	P52	0.53	0.08	P87	0.22	0.23
P18	0.33	0.08	P53	0.34	0.16	P88	0.23	0.27
P19	0.3	0.06	P54	0.42	0.09	P89	0.35	0.16
P20	0.14以上	0.1	P55	0.21	0.08	P90	0.31	0.21
P21	0.24	0.13	P56	0.21	0.06	P91	0.26	0.11
P22	0.26	0.09	P57	0.3	0.08	P92	0.24	0.17
P23	0.24	0.09	P58	0.37	0.07	P93	0.25	0.08
P24	0.23	0.16	P59	0.48	0.17	P94	0.1以上	0.07
P25	0.29	0.18	P60	0.47以上	0.21	P95	0.26	0.11
P26	0.61	0.15	P61	0.31	0.14	P96	0.21	0.09
P27	0.45	0.31	P62	0.67	0.24	P97	0.28以上	0.16
P28	0.41	0.24	P63	0.37	0.12	P98	0.32	0.28
P29	0.26以上	0.26以上	P64	0.38	0.13	P99	0.35	0.41
P30	0.28	0.18	P65	0.32以上	0.35	P100	0.29以上	0.14
P31	0.24	0.07	P66	0.52	0.36	P101	0.23	0.14
P32	0.29以上	0.13	P67	0.38	0.26			
P33	0.33	0.16	P68	0.26	0.17			
P34	0.11以上	0.07	P69	0.15	0.11			
P35	0.56	0.16	P70	0.42	0.15			

表5 P1～P101 柱穴計測一覧表



第 24 图 P1 ~ P101 柱穴断面图

SA-03ベルト②

A1	黒色を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒色を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B1	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
B2	褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C	明黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。土器を含む。
D1	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D2	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E1	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E2	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F1	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F2	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G1	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G2	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

門跡-01

A	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
C1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボンを含む。
C2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
D	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E1	明黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E2	明黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
F	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H1	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H2	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
I	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
J	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K1	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K2	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
L	明黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

門跡-02

A	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。
C1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
C2	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C3	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
D1	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
D2	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
I1	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
I2	黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
J	明黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
L	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
M1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
M2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
N1	明黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
N2	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SD-01ベルト①

I1	暗褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
I2	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
II	黒色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは硬。カーボン・土器・陶器を含む。
A1	黒褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
B	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。

SD-01ベルト②

A1	黒褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
B	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。

表6 埋土注記一覧表 (2/3)

SK-05

A	黒褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは硬。土器を含む。
B	暗褐色土を主体に、褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。土器を含む。
C1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
C2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。土器を含む。
D	褐色土を主体に、黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
F1	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。砂を含む。
F2	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。砂を含む。

SX-01

A1	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
A2	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
B	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
C1	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
C2	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
D1	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D2	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E1	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E2	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
F1	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
F2	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
G1	褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
G2	褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。土器を含む。
H	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
I	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
J	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K	黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SX-02

A1	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。土器を含む。
A2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。土器を含む。
B1	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
B2	褐色土を主体に、明褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
C1	黒色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
C2	黒色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
D	明黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F	黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G1	黒色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
G2	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは軟。
I	オリブ灰色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは軟。グライ化、水分・砂を含む。

SX-03

A	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。
B	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

表6 埋土注記一覧表 (3/3)

(2) 出土遺物 (第25図)

今回の調査で、かわらけ、国産陶器、中国産磁器、古銭、その他を中コンテナで3箱出土した。その内の実測可能な出土遺物13点を図化し掲載した。

1) かわらけ

SA-01 堀跡から2点。134・135はロクロ成形で、口径が6.1cm～6.6cmをはかる。SA-02 堀跡から2点。136・137はロクロ成形で、口径が7.3cm～7.4cmをはかる。柱穴から2点。138はロクロ成形で、口径が8.4cmをはかる。139は手づくねで、口径が11.2cmをはかる。検出面から3点。140・141はロクロ成形で、口径が6.3cm～7.3cmをはかる。142は手づくねで、口径が14.2cmをはかる。

2) 国産陶器

SX-01 不明遺構から1点。143は常滑産大甕の体部で表面に押印が施されている。

3) 中国産磁器

SX-01 不明遺構から1点。144は、青磁 碗の高台部である。

SX-02 不明遺構から1点。145は、白磁 四耳壺の口縁部である。

4) 古銭

SX-02 不明遺構から1点。146は明銭で永楽通寶(1408年始鑄)である。また書体は、真書体である。

かわらけ

番号	遺構名	出土位置	成形	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	残存率(%)	備考
134	SA-01	A層	ロクロ	6.1	5.0	1.7	20	回転糸切り無調整
135	SA-01	A層	ロクロ	6.6	5.2	1.8	20	回転糸切り無調整
136	SA-02	B層	ロクロ	7.3	5.2	2.0	40	回転糸切り無調整
137	SA-02	B層	ロクロ	7.4	6.1	1.6	40	回転糸切り無調整
138	P60	A層	ロクロ	8.4	5.4	1.7	60	回転糸切り無調整
139	P76	A層	手づくね	11.2	-	2.8	35	-
140	-	検出面	ロクロ	6.3	5.1	1.8	25	回転糸切り無調整
141	-	検出面	ロクロ	7.3	5.6	1.7	25	回転糸切り無調整
142	-	検出面	手づくね	14.2	-	2.3	35	-

国産陶器

番号	遺構名	出土位置	器種名	部位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	備考
143	SX-01	C層	大甕	体部	3.5	5.3	1.1	常滑産、押印あり

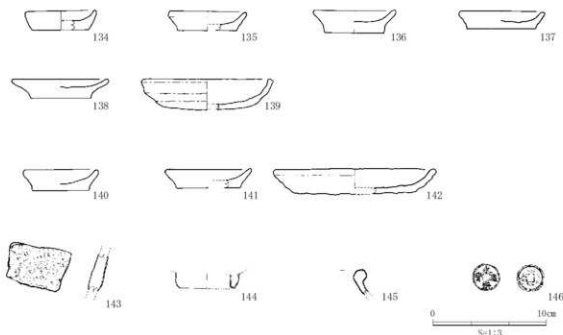
中国産磁器

番号	遺構名	出土位置	器種名	部位	直径(cm)	高さ(cm)	厚さ(cm)	備考
144	SX-01	E層	碗	高台部	6.4	1.2	0.9	青磁
145	SX-02	B層	四耳壺	口縁部	-	-	1.0	白磁

古銭

番号	遺構名	出土位置	銭名	直径(cm)	厚さ(cm)	残存率(%)	始鑄年代	備考
146	SX-02	A層	永楽通寶	2.4	0.24	100	1408年	明銭 真書体

表7 出土遺物一覧表



第 25 図 出土遺物

3 まとめ

南日詰大銀Ⅱ遺跡第2次調査で検出された遺構は、堀跡3条、門跡1ヶ所、土坑跡1基、溝跡1条、柱穴101口、不明遺構3基を検出した。遺物は、かわらけ、土師質土器、国産陶器、中国産陶磁器、鉄製品、その他を中コンテナで3箱出土した。

・堀跡

堀跡3条を検出した。SA-01～SA-03の形状は、垂直に近い逆台形を呈し、布堀が施されている。また、その内部には、ほぼ隙間なく丸形の柱穴が列をなしていた。SA-01・SA-02は第1次調査で検出された堀跡と繋がる。SA-03は新たに発見された堀跡になる。いずれも3条平行して構築されていた。この堀跡が南面若しくは北面にどちらを囲うのかは、今回の調査範囲からは判断がつかなかった。また、いずれも埋土からかわらけが出土していることから、12世紀の遺構と推測する。

・門跡

門跡1ヶ所を検出した。紫波町で12世紀の門跡が発見されたのは、今回が初めてのことである。門柱の直径は0.42m、門柱間2.88m(9尺6寸)をはかる2対の柱で構成される棟門と思われる。また、いずれも埋土からかわらけが出土していることから、12世紀の遺構と推測する。

・土坑跡

土坑跡1基を検出した。深さは0.88mをはかる。埋土から遺物を発見できず時代は不明である。

・溝跡

溝跡1条を検出した。SD-01の北面側は調査区外、南面側はカクランに壊される。規模は、長さ1.41m、深さ0.31mをはかる。また、埋土上層にかわらけ小片が混入することから、流れ込みも考えられるが、12世紀の遺構と推測する。

・不明遺構

不明遺構3基を検出した。SX-01は深さ0.86mをはかる。底面北西隅に粘土塊があったことから、工房の可能性が推測される。SX-02は深さ1.12mをはかる。最下層がクライ化していることから、井戸の可能性が考えられる。SX-03は深さ0.23mをはかる。SX-01・SX-02は埋土からかわらけが出土していることから、12世紀の遺構と推測するが、SX-03は埋土から遺物を発見できず時代は不明である。

IV 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第3次調査

1 調査の概要

位 置 紫波・稗貫衛生処理組合処理場敷地に隣接する北側の地点で、東西64.2m、南北14.2mを調査した。

検出遺構 竪穴住居跡1棟、竪穴状遺構跡1棟、掘立柱建物跡1棟、井戸跡7基、土坑跡14基、溝跡1条、柱穴258口。

出土遺物 土師器、須恵器、かわらけ、国産陶器、中国産陶磁器、木製品、鉄製品、壁材、その他。



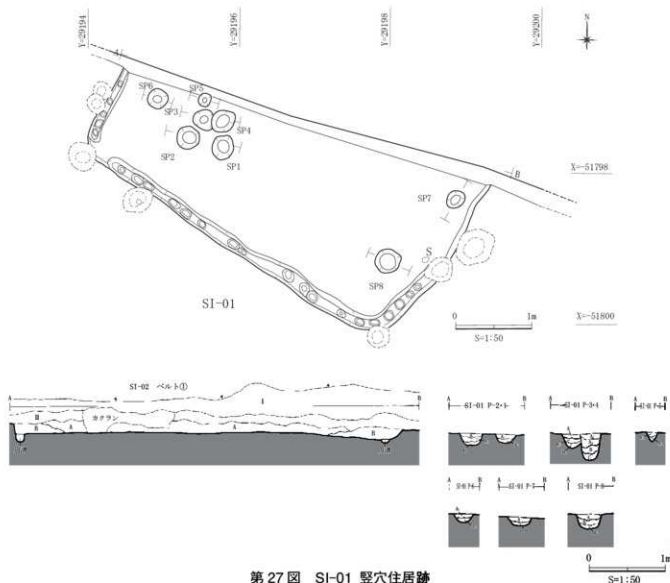
第 26 図 第 3 次調査区遺構配置図

2 調査の成果

(1) 検出遺構

SI-01 竪穴住居跡 (第27図)

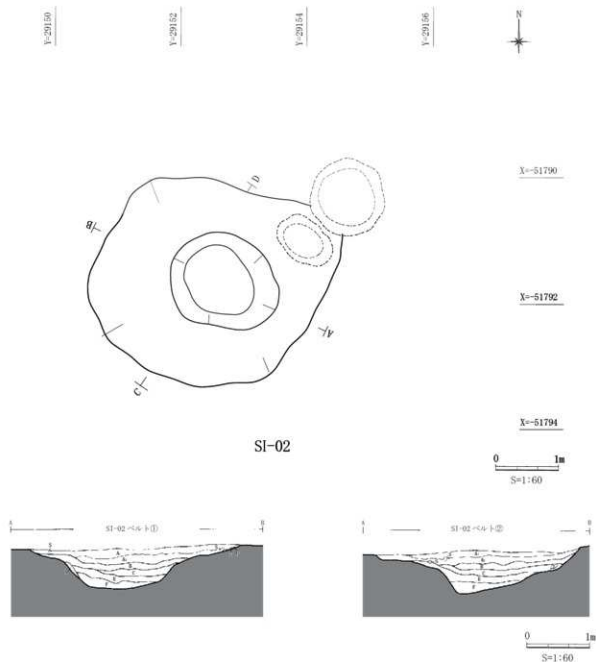
位置	調査区北東側	平面形	隅丸方形	重複関係	P3・P12・P22・P23・P24・P267 に切られる。
主軸方向	N36°E	掘込面	削平	壁の状況	ほぼ垂直に立ち上がる
検出面	黄褐色土シルト層	規模	東西上端4.98m、 下端4.6m、南北上端2.39m以上、 下端2.18m以上、深さは0.12m～0.18mをはかる。		
埋土	自然堆積。A層・B層に大別する。A層・B層は黒褐色土～暗褐色土を主体とする。A層・B層はカーボン・土器などを含む。				
床の状況	ほぼ平坦。一部を除き周溝が廻る。	カマド	なし (調査区外)		
ピット	各柱穴の深さは次の通りである。 SP1-0.12m・SP20-0.17m・SP3-0.18m・SP4-0.36m・SP5-0.15m・SP6-0.14m・SP7-0.14m・SP8-0.21mをはかる。				
出土遺物	土師器坏・甕、須恵器坏				



第27図 SI-01 竪穴住居跡

SI-02 竪穴状遺構跡 (第28図)

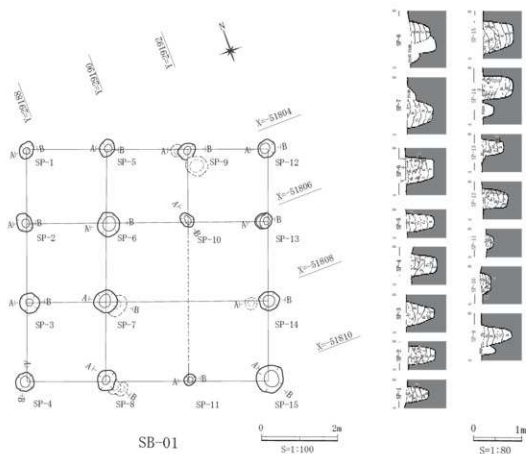
位置	調査区西側	平面形	不整丸方形	重複関係	SE-03・SK-12に切られる。
主軸方向	N75°W 掘込面 削平 壁の状況 外傾して立ち上がる。				
検出面	黄褐色土シルト層 規模 東西上端 3.34m、下端 1.13m、南北上端 3.23m、下端 1.06、深さは 0.51m～0.67mをはかる。				
埋土	自然堆積。A層～E層大別し、A層・E層は2層に細分する。A層～C層は黒色土～暗褐色土を主体、D層・E層は黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。A層～C層はカーボン・土器などを含む。D層は小礫を含む。				
床の状況	北側から南側に斜行する。カマド なし				
出土遺物	かわらけ、国産陶器				



第28図 SI-02 竪穴状遺構

SB-08 掘立柱建物跡 (第29図)

位置	調査区南東側
平面形	桁行3間・梁間3間(正方形) 重複関係 P106・P194・P196を切る。P70に切られる。
規模	南北3間6.38m(21尺3寸)、東西3間6.28m(20尺9寸)
棟方向	西側で柱列W22°N
埋土	自然堆積。暗褐色土～明黄褐色土を主体とする。
柱間寸法	桁行SP-1・SP-2間1.96m(6尺5寸)、SP-2・SP-3間2.09m(7尺)、SP-3・SP-4間2.08m(6尺9寸)、SP-5・SP-6間1.95m(6尺5寸)、SP-6・SP-7間2.08m(6尺9寸)、SP-7・SP-8間2.09m(6尺9寸)、SP-9・SP-10間1.94m(6尺5寸)、SP-10・SP-11間4.22m(14尺1寸)、SP-12・SP-13間1.92m(6尺4寸)、SP-13・SP-14間2.08m(6尺9寸)、SP-14・SP-15間2.13m(7尺)、梁間SP-1・SP-5間212m(7尺1寸)、SP-2・SP-6間211m(7尺)、SP-3・SP-7間211m(7尺)、SP-4・SP-8間209m(7尺)、SP-5・SP-9間215m(7尺2寸)、SP-6・SP-10間217m(7尺2寸)、SP-7・SP-14間431m(14尺4寸)、SP-8・SP-11間220m(7尺3寸) SP-9・SP-12間212m(7尺1寸)、SP-10・SP-13間211m(7尺)、SP-11・SP-15間212m(7尺1寸)をはかる。
柱穴	各柱穴の深さは次の通りである。SP-1 0.47m、SP-2 0.57m、SP-3 0.6m、SP-4 0.55m、SP-5 0.6m、SP-6 0.6m、SP-7 0.52m、SP-8 0.4m、SP-9 0.65m、SP-10 0.23m、SP-11 0.16m、SP-12 0.55m、SP-13 0.46m、SP-14 0.65m、SP-15 0.65mをはかる。
出土遺物	かわらけ



第29図 SB-09 掘立柱建物跡

SE-01 井戸跡 (第30図)

位置	調査区中央	平面形	円形	重複関係	なし
検出面	黄褐色シルト層上面	掘込面	削平		
壁の状況	直壁に外傾して立ち上がる。底面の状況 ほぼ平坦				
規模	幅上端 0.79m ~ 0.83m、幅下端 0.38m ~ 0.52m、深さは 1.04m をはかる。				
埋土	自然堆積。A層 ~ L層に大別し、A層・D層・G層・J層は2層に細分する。A層・C層 ~ F層・J層・K層は黒色土 ~ 褐色土を主体、B層・G層 ~ I層・L層はにぶい黄褐色土 ~ 明黄褐色土を主体とする。A層 ~ C層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	土師器・かわらけ				

SE-02 井戸跡 (第30図)

位置	調査区中央	平面形	円形	重複関係	なし
検出面	黄褐色シルト層上面	掘込面	削平		
壁の状況	ほぼ直壁に立ち上がる。底面の状況 ほぼ平坦				
規模	幅上端 1.18m ~ 1.24m、幅下端 0.81m ~ 0.83m、深さは 1.67m をはかる。				
埋土	自然堆積。A層 ~ N層に大別し、A層・D層・G層・H層・M層・N層は2層に細分する。A層・B層・D層・E層・G層 ~ K層は黒色土 ~ 褐色土を主体、C層・F層・L層・M層・N層はにぶい黄褐色土 ~ 明黄褐色土を主体とする。A層 ~ M層はカーボン・土器などを含む。N層は少礫と砂を含む。				
出土遺物	土師器・須恵器・かわらけ				

SE-03 井戸跡 (第31図)

位置	調査区北西	平面形	円形	重複関係	SI-02を切る。
検出面	黄褐色シルト層上面	掘込面	削平		
壁の状況	ほぼ直壁に立ち上がる。底面の状況 ほぼ平坦				
規模	幅上端 1.14m ~ 1.17m、幅下端 0.88m ~ 0.91m、深さは 1.02m をはかる。				
埋土	自然堆積。A層 ~ L層に大別し、A層・B層・D層は2層に細分する。A層・B層・D層 ~ H層・K層は黒色土 ~ 褐色土を主体、C層・I層・J層・L層はにぶい黄褐色土 ~ 黄褐色土を主体とする。A層・B層・H層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	土師器・かわらけ・土師質土器・国産陶器				

SE-04 井戸跡 (第31図)

位置	調査区北西	平面形	円形	重複関係	なし
検出面	黄褐色シルト層上面	掘込面	削平		
壁の状況	外傾して立ち上がる。底面の状況 ほぼ平坦				
規模	幅上端 1.98m ~ 2.03m、幅下端 0.92m ~ 1.08m、深さは 1.86m をはかる。				
埋土	自然堆積。A層 ~ U層に大別し、A層・E層・R層・U層は2層に細分する。A層 ~ G層・I層・J層・L層 ~ N層・R層・S層は黒色土 ~ 褐色土を主体、H層・K層・O層 ~ Q層はにぶい黄褐色土 ~ 明黄褐色土を主体、T層・U層は灰色土 ~ 明緑灰色土を主体とする。A層 ~ G層・I層・K層 ~ N層・R層はカーボン・土器などを含む。T層・U層は砂・少礫・土器・木製品・水分を含む。				
出土遺物	縄文土器・土師器・須恵器・かわらけ・国産陶器・中国産磁器・木製品・壁材・その他				

SE-05 井戸跡 (第31図)

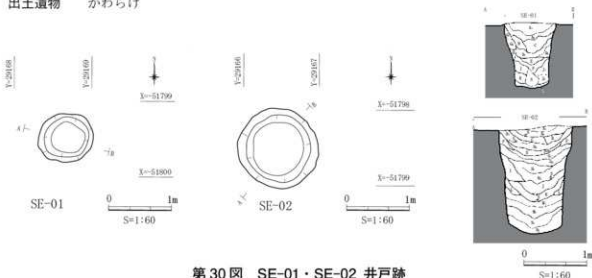
位置	調査区南東	平面形	円形	重複関係	なし
検出面	黄褐色シルト層上面 掘込面 削平				
壁の状況	外傾して立ち上がる。底面の状況 ほぼ平坦				
規模	幅上端 0.93m ~ 0.98m、幅下端 0.37m ~ 0.44m、深さは 1.34m をはかる。				
埋土	自然堆積。A層～N層に大別し、A層・D層・F層・L層は2層に細分する。A層・C層・G層・J層・L層は黒褐色土～褐色土を主体、B層・H層・I層・M層・N層はにぶい黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。A層～D層・F層・G層・I層・K層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

SE-06 井戸跡 (第31図)

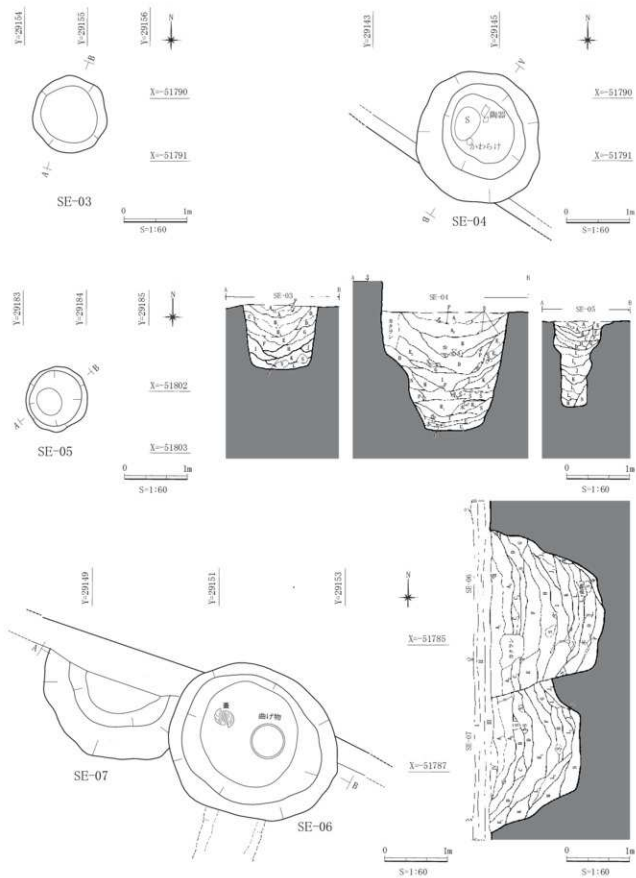
位置	調査区北西	平面形	不整形円形	重複関係	SE-07・SD-02を切る。
検出面	黄褐色シルト層上面 掘込面 削平				
壁の状況	外傾して立ち上がる。底面の状況 ほぼ平坦				
規模	幅上端 2.33m ~ 2.66m、幅下端 1.51m ~ 1.59m、深さは 1.82m をはかる。				
埋土	自然堆積。A層～Q層に大別し、A層・C層・J層・L層は2層に細分する。A層・C層・D層・F層～I層・K層・O層は黒色土～褐色土を主体、B層・E層・J層・L層～N層・はにぶい黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。P層・Q層は緑灰色～明緑灰色を主体とする。A層～D層・F層・G層はカーボン・土器などを含む。I層・L層・O層～Q層は砂・小礫・水分・木製品を含む。				
出土遺物	土師器・かわらけ・国産陶器・木製品				

SE-07 井戸跡 (第31図)

位置	調査区北西	平面形	円形	重複関係	SE-06に切られる。
検出面	黄褐色シルト層上面 掘込面 削平				
壁の状況	外傾して立ち上がる。底面の状況 ほぼ平坦				
規模	幅上端 1.27m ~ 2.14m 以上、幅下端 0.57m ~ 1.22m 以上、深さは 1.37m をはかる。				
埋土	自然堆積。A層～N層に大別し、A層・E層・J層・L層は2層に細分する。B層～H層・K層・N層は黒色土～褐色土を主体、A層・I層・J層・L層・M層は黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。B層～F層・K層・L層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				



第30図 SE-01・SE-02 井戸跡



第 31 図 SE-03～SE-07 井戸跡

SK-06 土坑跡 (第32図)

位置	調査区東側	平面形	不整形	重複関係	SK-09を切る。
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	緩やかに外傾して立ち上がる。
規模	幅上端0.98m～1.19m、幅下端0.58m～0.73m、深さは0.37mをはかる。				
埋土	自然堆積。A層～C層に大別し、A層は2層に細分する。A層・B層は黒色土～暗褐色土、C層は黄褐色土を主体とする。A層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

SK-07 土坑跡 (第32図)

位置	調査区東側	平面形	不整形	重複関係	P85を切る。
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	緩やかに外傾して立ち上がる。
規模	幅上端0.88m～1.18m、幅下端0.26m～0.59m、深さは0.36mをはかる。				
埋土	自然堆積。A層～I層に大別し、A層・D層・G層・H層は2層に細分する。A層・B層・E層・H層は黒色土～暗褐色土、C層・D層・F層・G層・I層はにぶい黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。A層～C層・G層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

SK-08 土坑跡 (第32図)

位置	調査区中央	平面形	不整形	重複関係	なし
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	ほぼ垂直に立ち上がる。
規模	幅上端0.24以上～0.54m、幅下端0.13m以上～0.28m、深さは0.47mをはかる。				
埋土	自然堆積。A層～C層に大別し、A層・B層は2層に細分する。A層～C層は黒褐色土～暗褐色土を主体とする。A層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

SK-09 土坑跡 (第32図)

位置	調査区北側	平面形	不整形	重複関係	SK-06を切られる。
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	緩やかに外傾して立ち上がる。
規模	幅上端0.54m以上～1.1m、幅下端0.56m～0.58m、深さは0.28mをはかる。				
埋土	自然堆積。A層・B層に大別し、A層は2層に細分する。A層は黒褐色土を主体、B層は明黄褐色土を主体とする。A層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

SK-10 土坑跡 (第32図)

位置	調査区西側	平面形	不整形	重複関係	なし
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	緩やかに外傾して立ち上がる。
規模	幅上端0.6m～0.91m、幅下端0.31m～0.72m、深さは0.17mをはかる。				
埋土	自然堆積。A層に大別し、A層は2層に細分する。A層は黒褐色土を主体とする。A層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ、中国産磁器				

SK-11 土坑跡 (第32図)

位置 調査区西側 平面形 不整形円形 重複関係 P271を切る。
 検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 緩やかに外傾して立ち上がる。
 規模 幅上端0.65m～0.88m、幅下端0.29m～0.32m、深さは0.46mをはかる。
 埋土 自然堆積。A層～E層に大別し、B層は2層に細分する。A層～D層は黒色土～褐色土を主体、E層はにぶい黄褐色土を主体とする。A層・B層・D層はカーボン・土器などを含む。
 出土遺物 かわらけ

SK-12 土坑跡 (第32図)

位置 調査区西側 平面形 不整形円形 重複関係 SI-02に切られる。
 検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 緩やかに外傾して立ち上がる。
 規模 幅上端0.7m～0.98m、幅下端0.48m～0.71m、深さは0.16mをはかる。
 埋土 自然堆積。A層・B層に大別し、A層・B層は黒色土～褐色土を主体とする。A層は土器を含む。
 出土遺物 かわらけ

SK-13 土坑跡 (第32図)

位置 調査区西側 平面形 不整形円形 重複関係 なし
 検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 緩やかに外傾して立ち上がる。
 規模 幅上端0.46m～1.12m、幅下端0.25m～0.76m、深さは0.25mをはかる。
 埋土 自然堆積。A層～E層に大別し、B層は2層に細分する。A層～C層・E層は黒褐色土～暗褐色土を主体、D層は明黄褐色土を主体とする。A層・B層はカーボン・土器などを含む。
 出土遺物 かわらけ

SK-14 土坑跡 (第33図)

位置 調査区西側 平面形 不整形円形 重複関係 なし
 検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 ほぼ垂直に立ち上がる。
 規模 幅上端0.71m～0.94m、幅下端0.58m～0.6m、深さは0.24mをはかる。
 埋土 自然堆積。A層～G層に大別し、B層は2層に細分する。A層～C層・E層は黒色土～褐色土、D層・F層・G層はにぶい黄褐色土～明黄褐色土を主体とする。A層～C層はカーボン・土器などを含む。
 出土遺物 かわらけ

SK-15 土坑跡 (第33図)

位置 調査区西側 平面形 円形 重複関係 なし
 検出面 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 ほぼ垂直に立ち上がる。
 規模 幅上端0.98m～1.03m、幅下端0.74m～0.78m、深さは0.35mをはかる。
 埋土 自然堆積。A層～E層に大別し、B層は2層に細分する。A層～D層は黒色土～褐色土、E層はにぶい黄褐色土を主体とする。A層～C層はカーボン・土器などを含む。
 出土遺物 かわらけ

SK-16 土坑跡 (第33図)

位置	調査区西側	平面形	不整楕円形	重複関係	P242を切る。
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	緩やかに外傾して立ち上がる。
規模	幅上端0.65m～1.2m、幅下端0.56m～1.01m、深さは0.17mをはかる。				
埋土	自然堆積。A層に大別し、A層は2層に細分する。A層は黒褐色土を主体とする。A層は土器を含む。				
出土遺物	かわらけ				

SK-17 土坑跡 (第33図)

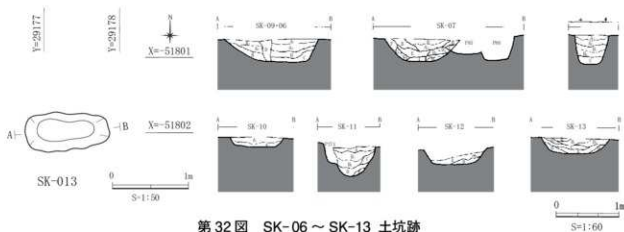
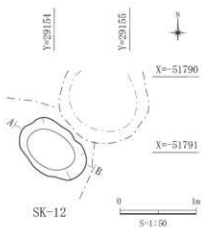
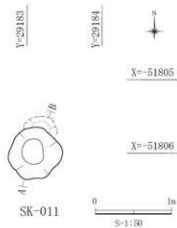
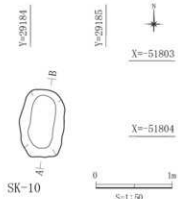
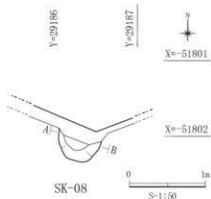
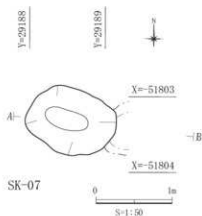
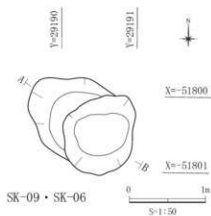
位置	調査区西側	平面形	円形	重複関係	なし
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	ほぼ垂直に立ち上がる。
規模	幅上端0.65m～0.74m、幅下端0.35m～0.45m、深さは0.22mをはかる。				
埋土	自然堆積。A層～C層に大別し、A層・B層は黒色土～黒褐色土を主体、C層はにぶい黄褐色土を主体とする。A層・B層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

SK-18 土坑跡 (第33図)

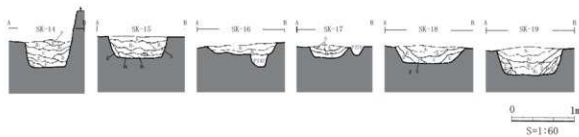
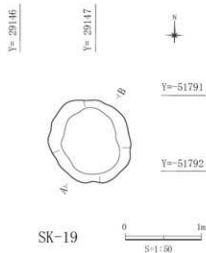
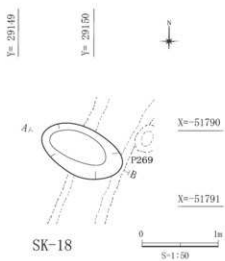
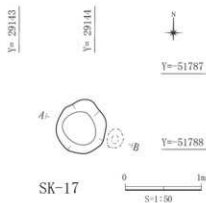
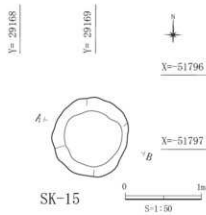
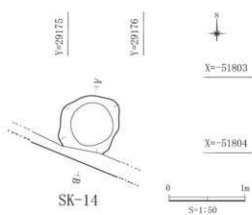
位置	調査区西側	平面形	不整楕円形	重複関係	SD-02を切る。
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	ほぼ垂直に立ち上がる。
規模	幅上端0.63m～1.14m、幅下端0.38m～0.78m、深さは0.29mをはかる。				
埋土	自然堆積。A層～E層に大別し、A層は2層に細分する。A層～C層は黒色土～褐色土、D層・E層はにぶい黄褐色土～黄褐色を主体とする。A層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				

SK-19 土坑跡 (第33図)

位置	調査区西側	平面形	不整円形	重複関係	なし
検出面	褐色シルト層上面	掘込面	削平	壁の状況	ほぼ垂直に立ち上がる。
規模	幅上端1.08m～1.1m、幅下端0.79m～0.87m、深さは0.44mをはかる。				
埋土	自然堆積。A層～F層に大別し、A層・B層・E層は2層に細分する。A層～D層・F層は黒色土～褐色土、E層は明黄褐色土を主体とする。A層・B層はカーボン・土器などを含む。				
出土遺物	かわらけ				



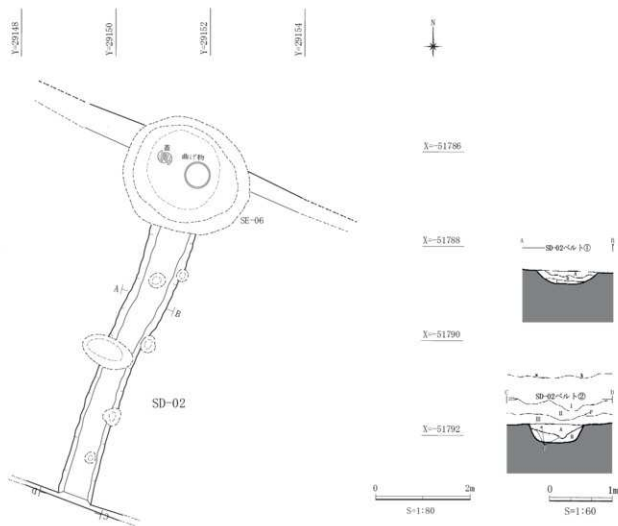
第 32 图 SK-06 ~ SK-13 土坑跡



第 33 図 SK-14～SK-19 土坑跡

SD-02 溝跡 (第34図)

- 位置** 調査区西側 平面形 直線状に南北に延びる。重複関係 SE-06、SK-13、SK-18・P-264～P-266・P268・P269に切られる。
- 検出面** 褐色シルト層上面 掘込面 削平 壁の状況 緩やかに外傾して立ち上がる。
- 床面の状況** ほぼ平坦
- 規模** 全長6.05m、幅上端0.74m～0.96m、幅下端0.52m～0.64m、検出面から底面までの深さは0.26mをはかる。
- 埋土** 自然堆積。A層～C層に大別する。A層・B層は黒色土～暗褐色土を主体、C層は明黄褐色土を主体とする。A層・B層はカーボン・土器などを含む。
- 出土遺物** 土師器、かわらけ、国産陶器



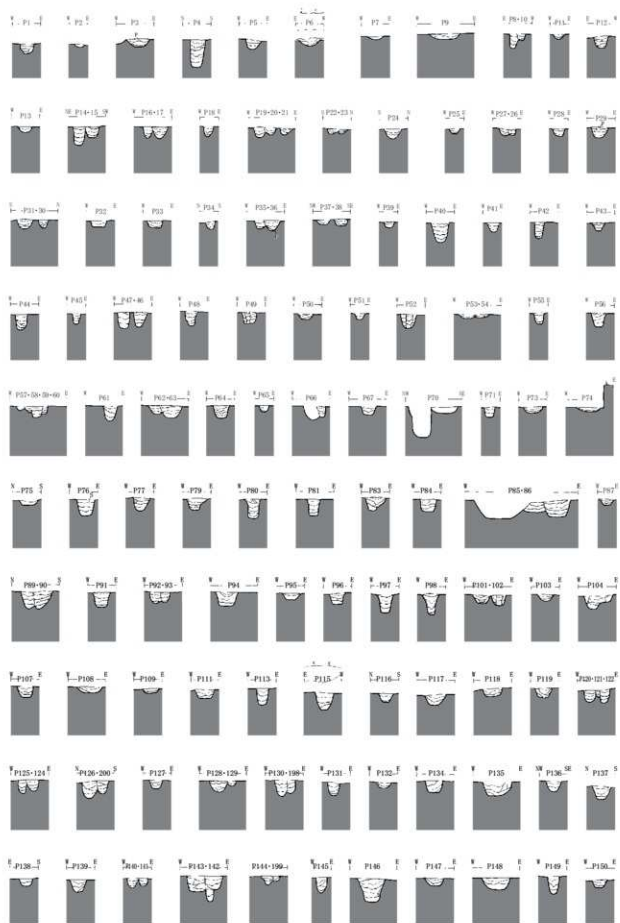
第34図 SD-02 溝跡

P1～P277 柱穴

柱穴は258口を検出した。また、明確な柱痕跡を残すものはなかった。埋土は黒褐色土～暗褐色土を主体になるものが多い。各柱穴の深さは表8の通りである。

No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)	No	幅(m)	深さ(m)
P1	0.30	0.20	P53	0.35	0.08	P113	0.25	0.35	P169	0.24以上	0.25	P222	0.70	1.10
P2	0.23	0.07	P54	0.32以上	0.07	P115	0.40	0.38	P170	0.55	0.18	P223	0.35	0.20
P3	0.48	0.17	P55	0.25	0.25	P116	0.32	0.18	P171	0.30	0.15	P224	0.25	0.41
P4	0.32	0.58	P56	0.34	0.3	P117	0.45	0.23	P172	0.30	0.13	P225	0.31	0.25
P5	0.35	0.20	P57	0.17以上	0.1	P118	0.40	0.18	P173	0.22以上	0.17	P226	0.20以上	0.27
P6	0.42	0.10	P58	0.17以上	0.14	P119	0.34	0.21	P174	0.27	0.23	P227	0.17	0.10
P7	0.38	0.06	P59	0.22	0.24	P120	0.25以上	0.25	P175	0.68	0.61	P228	0.21以上	0.28
P8	0.15以上	0.30	P60	0.12以上	0.18	P121	0.08以上	0.15	P176	0.16	0.18	P229	0.26	0.28
P9	0.65	0.11	P61	0.32	0.32	P122	0.22	0.27	P177	0.30	0.24	P230	0.30	0.20
P10	0.18	0.14	P62	0.50	0.26	P124	0.28	0.24	P178	0.50	0.57	P231	0.22	0.16
P11	0.25	0.10	P63	0.24以上	0.18	P125	0.14以上	0.28	P179	0.38	0.26	P232	0.16	0.14
P12	0.32	0.25	P64	0.35	0.25	P126	0.25	0.35	P180	0.45	0.38	P233	0.20	0.19
P13	0.30	0.11	P65	0.22	0.13	P127	0.30	0.18	P181	0.25	0.11	P234	0.4以上	0.20
P14	0.28	0.38	P66	0.2	0.23	P128	0.38以上	0.23	P182	0.30	0.16	P235	0.20	0.27
P15	0.28以上	0.22	P67	0.35	0.15	P129	0.22	0.10	P183	0.17	0.08	P236	0.22	0.22
P16	0.18	0.24	P68	0.48	0.65	P130	0.26	0.34	P184	0.34	0.17	P237	0.27	0.37
P17	0.35	0.25	P70	0.57	0.12	P131	0.25	0.27	P185	0.17	0.16	P238	0.20以上	0.15
P18	0.20	0.22	P71	0.25	0.23	P132	0.35	0.12	P186	0.30	0.10	P239	0.22	0.13
P19	0.25以上	0.22	P73	0.42	0.13	P134	0.36	0.25	P187	0.35	0.20	P240	0.35	0.33
P20	0.25	0.16	P74	0.5	0.08	P135	0.61	0.29	P188	0.20	0.10	P241	0.13以上	0.17
P21	0.28	0.14	P75	0.41	0.1	P136	0.32	0.22	P189	0.34	0.25	P242	0.28	0.20
P22	0.25	0.11	P76	0.38	0.34	P137	0.40	0.27	P190	0.25	0.10	P243	0.22	0.15
P23	0.16以上	0.10	P77	0.35	0.28	P138	0.30	0.16	P191	0.28	0.26	P244	0.33	0.12
P24	0.35	0.21	P79	0.45	0.24	P139	0.36	0.26	P192	0.33	0.30	P245	0.26	0.12
P25	0.23	0.12	P80	0.34	0.4	P140	0.26	0.20	P193	0.37	0.20	P246	0.17	0.14
P26	0.16	0.12	P81	0.3	0.34	P141	0.18	0.17	P194	0.28以上	0.30	P247	0.23	0.28
P27	0.20以上	0.14	P82	0.48	0.23	P142	0.38以上	0.54	P195	0.70	0.65	P248	0.27以上	0.27
P28	0.25	0.16	P83	0.45	0.28	P143	0.40以上	0.34	P196	0.24	0.52	P249	0.31	0.38
P29	0.36	0.23	P84	0.37	0.26	P144	0.25以上	0.20	P197	0.18以上	0.18	P250	0.35	0.30
P30	0.20	0.16	P85	0.27以上	0.22	P145	0.23	0.33	P198	0.17以上	0.28	P251	0.25	0.15
P31	0.35	0.20	P86	0.52	0.35	P146	0.60	0.50	P199	0.15以上	0.10	P252	0.42	0.45
P32	0.34	0.15	P87	0.30	0.13	P147	0.43	0.17	P200	0.30以上	0.26	P253	0.30	0.23
P33	0.33	0.16	P89	0.26以上	0.36	P148	0.58	0.25	P201	0.30	0.40	P254	0.50	0.10
P34	0.20	0.16	P90	0.41	0.37	P150	0.32	0.16	P202	0.70	0.80	P255	0.36	0.35
P35	0.20以上	0.18	P91	0.38	0.3	P151	0.35	0.13	P203	0.21	0.40	P256	0.22	0.32
P36	0.36	0.22	P92	0.22以上	0.23	P152	0.15以上	0.14	P204	0.22	0.27	P257	0.40	0.33
P37	0.3	0.11	P93	0.23	0.22	P153	0.28	0.35	P205	0.57	0.40	P258	0.18	0.14
P38	0.3	0.15	P94	0.5	0.3	P154	0.22	0.15	P206	0.30	0.25	P259	0.15	0.25
P39	0.22	0.12	P95	0.4	0.14	P155	0.25	0.16	P207	0.28	0.20	P260	0.19	0.20
P40	0.4	0.42	P96	0.35	0.23	P156	0.18以上	0.12	P208	0.25	0.40	P261	0.30	0.30
P41	0.25	0.18	P97	0.36	0.38	P157	0.31	0.20	P209	0.30	0.27	P262	0.20	0.20
P42	0.2	0.35	P98	0.4	0.45	P158	0.24	0.07	P210	0.25	0.15	P263	0.16以上	0.45
P43	0.3	0.17	P100	0.3	0.24	P159	0.25	0.45	P211	0.22	0.15	P264	0.48	0.16
P44	0.28	0.32	P101	0.37	0.18	P160	0.50	0.12	P212	0.31	0.35	P265	0.20	0.06
P45	0.18	0.22	P102	0.3	0.22	P161	0.19	0.27	P213	0.35	0.13	P266	0.32	0.13
P46	0.29	0.3	P103	0.35	0.14	P162	0.27以上	0.28	P214	0.40	0.15	P267	0.28	0.22
P47	0.27	0.34	P104	0.62	0.27	P163	0.33	0.17	P215	0.31	0.16	P268	0.20	0.15
P48	0.28	0.32	P106	0.25以上	0.17	P164	0.14以上	0.16	P216	0.26	0.17	P269	0.27	0.15
P49	0.31	0.25	P107	0.33	0.24	P165	0.42	0.11	P218	0.31	0.12	P270	0.20	0.13
P50	0.32	0.12	P108	0.52	0.12	P166	0.36	0.20	P219	0.24	0.18	P271	0.17	0.25
P51	0.2	0.13	P109	0.33	0.09	P167	0.35	0.20	P220	0.24	0.22			
P52	0.34	0.3	P111	0.43	0.18	P168	0.24	0.22	P221	0.33	0.09			

表8 柱穴計測一覧表



第35图 P1~P150 柱穴断面图

SI-01

A	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。

SI-02

A1	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
D	黄褐色土を主体に、黒色土を粉状～粒状に締まりは中。少礫を含む。
E1	明黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E2	明黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SE-01

A1	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
D1	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
D2	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
E	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
F	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G1	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
G2	黄褐色土を主体に、ぬい黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
H	明黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
I	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
J1	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
J2	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
L	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SE-02

A1	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
C	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
D1	褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D2	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは軟。カーボン（多く）・土器を含む。
F	黄褐色土を主体に、黒色土を粉状～粒状に締まりは中。
G1	褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G2	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H1	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H2	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
I	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボンを含む。
J	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
L	明黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。カーボンを含む。
M1	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
M2	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
N1	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは軟。少礫と砂を含む。
N2	黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは軟。少礫と砂を含む。

表9 埋土注記一覧表 (1/5)

SE-03

A1	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B1	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
B2	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C	黄褐色土を主体に、にぶい褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
D1	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D2	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
I	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
J	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
L	黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SE-04

A1	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
D	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
E1	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは軟。
E2	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは軟。カーボンを含む。
F	褐色土を主体に、明黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。土器を含む。
G	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
H	明黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
I	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
J	黒色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
K	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは硬。カーボンを含む。
L	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器・陶器を含む。
M	黒色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。土器を含む。
N	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。カーボンを含む。
O	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
P	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に小礫と砂を含み、締まりは軟。
Q	黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に小礫と砂を含み、締まりは軟。
R1	黒色土を主体に、灰黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
R2	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
S	暗褐色土を主体に、灰黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。グライ化。
T	灰色土を主体に、黒色土を粒状～塊状に締まりは中。グライ化。木片を含む。
U1	明緑灰色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは軟。グライ化。砂・小礫・土器・木片・水分を含む。
U2	明緑灰色土を主体に、黒色土を粉状～粒状に締まりは硬。グライ化。砂・小礫・土器・木片・水分を含む。

SE-05

A1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。カーボンを含む。
C	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
D1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
D2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

表9 埋土注記一覧表 (2/5)

F1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
G	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
H	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
I1	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
I2	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
J	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
L1	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
L2	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは軟。
M	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは軟。
N	黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SE-06

A1	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	にぶい黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
C1	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。土器を含む。
C2	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
D	黒暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
E	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F	褐色土を主体に、黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。土器を含む。
G	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
H	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。小礫を含む。
I	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
J1	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
J2	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
K	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
L1	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは軟。小礫を含む。
L2	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは軟。
M	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
N	明黄褐色土を主体に、黒暗褐色土を粉状～粒状に締まりは軟。
O	暗褐色土を主体に、オリブ灰褐色土を粉状～粒状に締まりは軟。水分・木製品を含む。
P	緑灰色土を主体に、オリブ黄色土を粒状～塊状に締まりは軟。砂・小礫・水分を含む。
Q	明緑灰色土を主体に、灰色土を粒状～塊状に締まりは軟。砂・小礫・水分を含む。

SE-07

A1	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは硬。
A2	黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。
B	暗褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
D	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
E1	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
E2	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
F	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
G	黒暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
I1	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
I2	明黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
J1	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
J2	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
L1	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。土器を含む。
L2	黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
M	明黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは軟。
N	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粉状～粒状に締まりは軟。

表9 埋土注記一覧表 (3/5)

SK-06

A1	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボンを含む。
A2	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボンを含む。
B	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SK-07

A1	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C	にぶい黄色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。土器を含む。
D1	黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
D2	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。
F	明黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
G1	にぶい黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。土器を含む。
G2	にぶい黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。土器を含む。
H1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
I	黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SK-08

A1	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
A2	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B2	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C	黒色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SK-09

A1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SK-10

A1	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
A2	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

SK-11

A	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
B1	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
B2	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
C	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
E	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

SK-12

A	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。土器を含む。
B	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。

SK-13

A	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B1	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
B2	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。
C	黒褐色土を主体に、黒色土を粉状～粒状に締まりは中。
D	明黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

表9 埋土注記一覧表 (4/5)

SK-14

A	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B2	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。土器を含む。
D	明黄褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SK-15

A	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B1	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B2	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。土器を含む。
D1	褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D2	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

SK-16

A1	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。土器を含む。
A2	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。土器を含む。

SK-17

A	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
C	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

SK-18

A1	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SK-19

A1	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
A2	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B1	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
B2	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。小礫を含む。土器を含む。
C	褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
D	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E1	明黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E2	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
F	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

SD-02

A	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボン・土器を含む。
B	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボン・土器を含む。
C	明黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

表 9 埋土注記一覧表 (5/5)

(2) 出土遺物 (第37図～第45図)

今回の調査では、土師器・須恵器・かわらけ・土師質土器・国産陶器・中国産磁器・木製品・鉄製品・壁材・その他を中コンテナで28箱出土した。その内の実測可能な97点を図化し掲載した。

1) かわらけ

SI-02 竪穴状遺構跡から4点。148・149・151はロクロ成形で、口径6.3cm～7.9cm、150は手づくねで口径が12.2cmをはかる。SE-01から5点。152～156はロクロ成形で、口径が6.94cm～10.0cm、SE-02から8点。157～161はロクロ成形で、口径が6.6cm～9.8cm、162～164は手づくねで、口径が5.7cm～11.0cmをはかる。SE-03から7点。165・168～171はロクロ成形で、口径が7.5cm～14.4cm、166・167は手づくねで、口径が8.5cm～9.0cmをはかる。SE-04から17点。172～174・176・177・179～186はロクロ成形で、口径が8.4cm～13.8cm、175・178・187・188は手づくねで、口径が9.0cm～14.4cmをはかる。SE-05から2点。189・190は手づくねで、口径が8.0cm～9.8cmをはかる。SD-02から3点。191～193はロクロ成形で、口径が7.4cm～8.4cmをはかる。SB-09から4点。197はロクロ成形で、口径は不明。194～196は手づくねで、口径が8.0cm～11.7cmをはかる。SK-14から1点。200はロクロ成形で、口径が14.2cmをはかる。SK-19から3点。198・199・201はロクロ成形で、口径が8.4cm～12.6cmをはかる。Ⅱ層から15点。202・204～210・219・220はロクロ成形で、口径が7.6cm～10.8cm、211・213・216～218は手づくねで、口径が8.0cm～9.0cmをはかる。検出面から2点。214・215は手づくねで、口径が9.2cm～9.4cmをはかる。Pitから24点。221～228・232～237・239～244はロクロ成形で、口径が5.6cm～14.2cm、229～231・238は手づくねで、口径が10.4cm～14.5cmをはかる。表探から2点。203はロクロ成形で、口径が7.6cm、212は手づくねで、口径が8.6cmをはかる。

2) 土師器

SI-01 竪穴住居跡から1点。147は土師器坏で、口径が12.8cmをはかる。口縁部は若干外反する。

3) 須恵器

SI-02から1点。248は須恵器長頸瓶の体部である。Ⅱ層から1点。272は須恵器甕の体部である。

4) 国産陶器

SI-02 竪穴状遺構跡から3点。245は渥美産壺の体部、246は常滑産鉢の体部、247は須恵器系壺の体部である。SE-02 井戸跡から2点。252は常滑産壺の体部、253は渥美産鉢の体部である。SE-03 井戸跡から1点。254は渥美産壺の体部である。SE-04 井戸跡から7点。249は渥美産片口鉢の体部、250は常滑産大甕の口～体部、251は常滑産大甕の体部、255は常滑産三筋壺の体部、256～258は常滑産甕の体部である。SE-06 井戸跡から1点。259は常滑産甕の体部である。SD-02 溝跡から2点。262は常滑産三筋壺の体部、263は珠洲産壺の体部である。P90から1点。266は渥美産壺の体部である。P140から1点。267は渥美産鉢の頸部である。P222から1点。268は常滑産甕の体部である。Ⅱ層から14点。269・275は常滑産甕の体部、270・282は肥前産碗・皿の口～体部・体部、271・276は大堀相馬産小鉢・皿の底部・体部、273・278は常滑産大甕の体部、274・280は渥美産壺の頸部と体部、277・283は珠洲産甕・壺の体部、279は須恵器系壺の体部、281は古瀬戸産平碗の体部である。表探から3点。288は珠洲産甕の体部、289は常滑産広口壺の体部、290は肥前産碗の口縁部である。

5) 中国産磁

SE-04から2点。260は白磁四耳壺の体部、261は青磁碗の口縁部である。SD-02から1点。264は白磁四耳壺の口縁部である。SK-15から1点。265は白磁碗の体部である。Ⅱ層から4点。284・285・286は白磁の碗・皿・水差し、287は青磁碗の高台部である。表探から1点。291は青磁

碗の口縁部である。

6) 木製品

SE-04 から 7 点。292～298 は部材及び棒状である。SE-06 から 2 点。299 は曲げ物、300 は底板である。

かわらけ

番号	遺構名	出土位置	成形	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	残存率(%)	備 考
148	SI-02	A層	ロクロ	6.3	5.1	1.7	25	回転系切り無調整
149	SI-02	C層	ロクロ	7.9	6.3	1.8	25	回転系切り無調整
150	SI-02	A層	手づくね	12.2	-	2.4	25	-
151	SI-02	C層	ロクロ	-	3.4	1.7	0	柱状高台基台部
152	SE-01	L層	ロクロ	6.4	4.7	2.0	35	回転系切り無調整
153	SE-01	A1層	ロクロ	7.0	4.8	1.7	25	回転系切り無調整
154	SE-01	A2層	ロクロ	7.3	5.5	1.3	20	回転系切り無調整
155	SE-01	C層	ロクロ	10.0	7.8	1.8	40	回転系切り無調整
156	SE-01	A2層	ロクロ	9.6	7.3	1.9	35	回転系切り無調整
157	SE-02	A1層	ロクロ	6.6	5.2	2.0	25	回転系切り再調整
158	SE-02	H2層	ロクロ	7.5	5.6	1.9	25	回転系切り再調整
159	SE-02	G1層	ロクロ	8.6	6.0	2.0	30	回転系切り無調整
160	SE-02	A2層	ロクロ	8.8	6.0	2.1	70	回転系切り無調整
161	SE-02	B層	ロクロ	9.8	7.4	1.9	25	回転系切り無調整
162	SE-02	A2層	手づくね	5.7	-	1.6	20	-
163	SE-02	A2層	手づくね	9.5	-	2.5	90	三段ナゲ
164	SE-02	A1層	手づくね	11.0	-	1.9	25	-
165	SE-03	H層	ロクロ	8.4	6.6	1.9	45	回転系切り無調整
166	SE-03	H層	手づくね	9.0	-	1.9	25	-
167	SE-03	H層	手づくね	8.5	-	1.8	75	-
168	SE-03	H層	ロクロ	14.4	7.8	4.5	85	回転系切り無調整
169	SE-03	L層	ロクロ	7.5	6.2	1.2	45	回転系切り無調整
170	SE-03	H層	ロクロ	8.6	6.4	1.9	80	回転系切り再調整
171	SE-03	H層	ロクロ	8.0	6.0	1.9	60	回転系切り無調整
172	SE-04	O層	ロクロ	8.6	5.0	1.8	65	回転系切り無調整
173	SE-04	G層	ロクロ	8.4	5.6	1.9	75	回転系切り無調整
174	SE-04	A2層	ロクロ	8.6	4.6	1.8	25	回転系切り無調整
175	SE-04	O層	手づくね	9.0	-	1.5	25	-
176	SE-04	U2層	ロクロ	9.0	6.4	1.6	30	回転系切り再調整
177	SE-04	O層	ロクロ	9.0	6.0	1.9	30	回転系切り無調整
178	SE-04	U2層	手づくね	9.6	-	2.0	35	-
179	SE-04	U2層	ロクロ	10.5	5.0	3.0	30	回転系切り無調整
180	SE-04	O層	ロクロ	8.4	6.0	2.0	90	回転系切り無調整
181	SE-04	U2層	ロクロ	8.8	6.2	2.1	80	回転系切り無調整
182	SE-04	E層	ロクロ	9.2	6.0	2.0	85	回転系切り無調整
183	SE-04	U2層	ロクロ	13.0	7.0	3.5	55	回転系切り無調整
184	SE-04	E層	ロクロ	13.8	6.8	4.2	35	回転系切り無調整
185	SE-04	C層	ロクロ	12.0	5.6	4.4	50	回転系切り無調整
186	SE-04	C層	ロクロ	14.8	8.4	3.9	50	回転系切り無調整
187	SE-04	I層	手づくね	14.4	-	3.6	40	-
188	SE-04	U2層	手づくね	11.0	-	3.0	35	-
189	SE-05	M層	手づくね	8.0	-	0.9	20	-
190	SE-05	A2層	手づくね	9.8	-	2.1	25	-
191	SD-01	B層	ロクロ	8.4	6.0	2.0	75	回転系切り再調整
192	SD-01	B層	ロクロ	7.4	5.0	2.0	20	回転系切り再調整、スノコ皿
193	SD-01	B層	ロクロ	-	3.6	-	20	柱状高台基台部
194	SB-09 SP03	C層	手づくね	8.0	-	1.7	20	-
195	SB-09 SP-01	A層	手づくね	11.4	-	2.0	20	-
196	SB-09 SP-13	C層	手づくね	11.7	-	2.3	25	-
197	SB-09 SP-04	B層	ロクロ	-	3.0	-	-	柱状高台基台部
198	SK-19	A1層	ロクロ	8.4	6.4	2.0	100	回転系切り無調整
199	SK-19	C層	ロクロ	8.8	6.4	1.9	95	回転系切り無調整

表 10 出土遺物一覧表 (1/3)

番号	遺構名	出土位置	成形	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	残存率(%)	備考
200	SK-14	A層	ロクロ	14.2	7.0	4.0	80	回転系切り無調整
201	SK-19	A2層	ロクロ	12.6	6.6	3.9	30	回転系切り無調整
202	-	II層	ロクロ	7.6	5.0	2.0	35	回転系切り再調整
203	-	表採	ロクロ	7.6	6.4	1.7	35	回転系切り再調整
204	-	II層	ロクロ	8.0	6.4	1.4	20	回転系切り再調整
205	-	II層	ロクロ	8.2	6.4	1.6	45	回転系切り再調整
206	-	II層	ロクロ	7.9	6.4	1.6	20	回転系切り再調整
207	-	II層	ロクロ	7.7	6.5	1.7	20	回転系切り再調整
208	-	II層	ロクロ	8.6	7.0	2.0	25	回転系切り無調整
209	-	II層	ロクロ	8.8	7.6	1.9	30	回転系切り無調整
210	-	II層	ロクロ	10.8	7.7	1.5	35	回転系切り無調整
211	-	II層	手づくね	8.0	-	1.4	30	-
212	-	表採	手づくね	8.6	-	1.2	45	-
213	-	II層	手づくね	9.0	-	1.6	30	-
214	-	検出面	手づくね	9.4	-	2.0	35	-
215	-	検出面	手づくね	9.2	-	1.5	25	-
216	-	II層	手づくね	11.6	-	2.0	25	-
217	-	II層	手づくね	11.8	-	3.0	40	-
218	-	II層	手づくね	13.2	-	2.4	30	内面カーボン付着
219	-	II層	ロクロ	-	8.4	2.5	30	回転系切り無調整
220	-	II層	ロクロ	-	3.2	-	-	柱状高台基部
221	P-175	E層	ロクロ	5.6	4.0	1.6	20	回転系切り無調整
222	P-18	A層	ロクロ	5.7	4.5	1.5	20	回転系切り再調整、スノコ痕
223	P-147	B層	ロクロ	6.6	4.7	1.7	20	回転系切り無調整
224	P-175	B層	ロクロ	7.2	5.1	2.0	20	回転系切り無調整
225	P-03	A層	ロクロ	7.2	5.2	2.1	30	回転系切り再調整
226	P-205	A層	ロクロ	7.4	5.1	2.0	20	回転系切り無調整
227	P-132	A層	ロクロ	7.8	5.6	2.0	30	回転系切り再調整
228	P-144	A層	ロクロ	8.1	6.1	2.2	30	回転系切り無調整
229	P-175	B層	手づくね	10.4	-	2.0	30	-
230	P-24	A層	手づくね	10.8	-	2.2	35	-
231	P-175	B層	手づくね	12.0	-	3.2	40	-
232	P-222	F層	ロクロ	7.6	5.2	1.8	35	回転系切り無調整
233	P-222	G層	ロクロ	7.2	5.0	1.9	40	回転系切り再調整
234	P-222	B2層	ロクロ	7.8	4.2	1.6	35	回転系切り無調整
235	P-222	B2層	ロクロ	9.0	6.6	1.7	45	回転系切り無調整
236	P-222	K層	ロクロ	12.6	8.0	4.0	45	回転系切り無調整
237	P-222	I層	ロクロ	12.2	7.8	3.3	35	回転系切り無調整
238	P-222	B2層	手づくね	14.5	7.0	2.9	30	-
239	P-222	K層	ロクロ	12.4	6.4	3.9	100	回転系切り再調整
240	P-222	K層	ロクロ	13.6	7.4	4.0	75	回転系切り再調整
241	P-222	G層	ロクロ	13.4	7.0	4.2	80	回転系切り無調整
242	P-222	K層	ロクロ	14.0	7.3	4.3	96	回転系切り無調整
243	P-222	L層	ロクロ	14.2	7.8	4.2	80	回転系切り無調整、カーボン付着
244	P-222	L層	ロクロ	14.0	8.0	4.4	100	回転系切り無調整、スノコ痕

土師器

番号	遺構名	出土位置	器種名	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	残存率(%)	備考
147	SE-01	A層	坏	12.8	-	-	30	-

須恵器

番号	遺構名	出土位置	器種名	部位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	備考
248	SI-02	A層	長頸瓶	体部	3.6	3.7	0.5	-
272	-	II層	甕	体部	3.4	3.0	0.5	-

国産陶器

番号	遺構名	出土位置	器種名	部位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	備考
245	SI-02	A層	壺	体部	5.5	3.5	1.4	瀬美産

表 10 出土遺物一覧表 (2/3)

番号	遺構名	出土位置	器種名	部位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	備考
246	SI-02	A層	鉢	体部	6.3	5.7	1.0	常清産
247	SI-02	A層	甕	体部	9.5	9.4	1.3	須恵器系
249	SE-04	U2層	片口鉢	口~底	口径43.4	底径17.0	器高15.1	渥美産
250	SE-04	Q層	大甕	口~体部	口径46.0	-	-	常清産
251	SE-04	Q層	大甕	体部	13.8	25.0	1.0	常清産
252	SE-02	M2層	壺	体部	5.5	8.0	1.3	常清産
253	SE-02	A2層	鉢	体部	4.4	5.1	0.7	渥美産
254	SE-03	A層	壺	体部	3.5	5.5	1.1	渥美産
255	SE-04	U2層	三筋壺	体部	4.5	4.8	1.1	常清産
256	SE-04	H層	甕	体部	6.9	4.2	0.7	常清産
257	SE-04	H層	甕	体部	4.5	6.1	0.7	常清産
258	SE-04	C層	甕	体部	6.3	6.6	0.7	常清産
259	SE-06	P層	甕	体部	7.0	4.8	0.7	常清産
262	SD-02	B層	三筋壺	体部	6.6	8.4	1.3	常清産
263	SD-02	A層	壺	体部	9.0	6.7	1.6	珠洲産
266	P90	B層	甕	体部	5.7	2.8	0.8	渥美産
267	P140	B層	鉢	頸部	2.8	4.4	0.5	渥美産
268	P222	G層	甕	体部	2.7	3.2	0.8	常清産
269	-	II層	甕	体部	2.9	2.0	1.1	常清産
270	-	II層	碗	口縁部	口径7.0	1.7	0.3	肥前産染付
271	-	II層	小碗	退部~底	-	底径4.0	-	大堀相馬産18c ~ 19c
273	-	II層	大甕	体部	6.0	3.4	1.0	常清産
274	-	II層	壺	頸部	4.8	5.2	1.4	渥美産
275	-	II層	甕	体部	2.9	2.3	0.8	常清産
276	-	II層	皿	体部	3.4	4.2	0.6	大堀相馬産18c ~ 19c
277	-	II層	甕	体部	8.9	5.5	0.9	珠洲産
278	-	II層	大甕	体部	9.5	11.2	0.8	常清産
279	-	II層	甕	体部	12.0	8.0	1.2	須恵器系
280	-	II層	壺	体部	4.5	4.1	1.1	渥美産
281	-	II層	平碗	体部	7.3	7.7	1.3	古瀬戸13c ~ 14c
282	-	II層	皿	体部	2.0	2.3	0.7	肥前産染付
283	-	II層	壺	体部	3.8	2.1	0.9	珠洲産
288	-	表採	壺	体部	3.3	4.9	0.5	珠洲産
289	-	表採	広口壺	体部	4.7	3.1	0.8	常清産
290	-	表採	碗	口縁部	口径7.0	2.6	0.3	肥前産染付

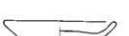
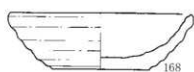
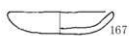
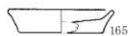
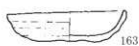
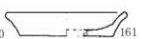
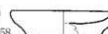
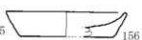
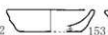
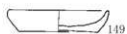
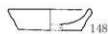
中国産陶器

番号	遺構名	出土位置	器種名	部位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	備考
260	SE-04	E層	四耳壺	体部	3.3	4.4	0.9	白磁
261	SE-04	E層	碗	口縁部	3.4	32.4	0.4	青磁
264	SD-01	A層	四耳壺	口縁部	口径7.8	4.1	1.2	白磁
265	SK-15	A層	碗	口縁部	3.1	5.8	0.7	白磁
284	-	II層	碗	体部	3.5	2.4	0.6	白磁
285	-	II層	皿	体部	3.2	2.8	0.6	白磁
286	-	II層	水差し	体部	1.6	2.6	0.8	白磁
287	-	II層	碗	高台部	直径4.4	高台部高さ0.9	-	青磁
291	-	表採	碗	口縁部	口径8.8	2.2	0.6	青磁

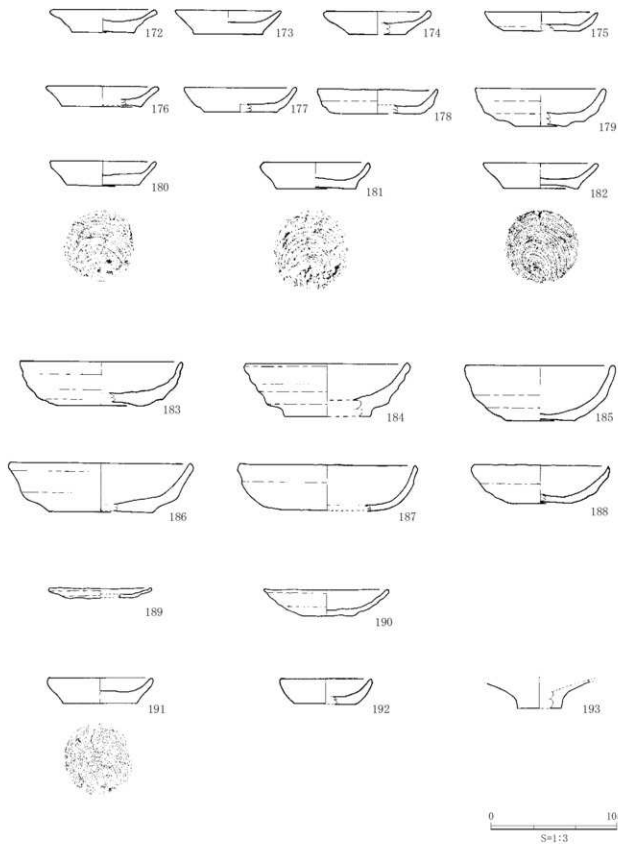
木製品

番号	遺構名	出土位置	器種名	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	残存率(%)	備考
292	SE-04	U2層	部材	19.0	13.3	2.6	-	中央部に直径5.1cmの有孔
293	SE-04	U2層	棒状	16.6	2.9	-	-	-
294	SE-04	U1層	部材	12.8	8.8	2.4	-	-
295	SE-04	U1層	棒状	23.9	1.8	-	-	-
296	SE-04	U1層	棒状	11.0	3.8	4.2	-	-
297	SE-04	T層	部材	9.8	4.0	1.2	-	-
298	SE-04	T層	棒状	12.9	3.1	-	-	-
299	SE-06	O層	曲げ物	28.7	29.4	1.3	-	-
300	SE-06	O層	底板	31.1	7.7	0.8	-	-

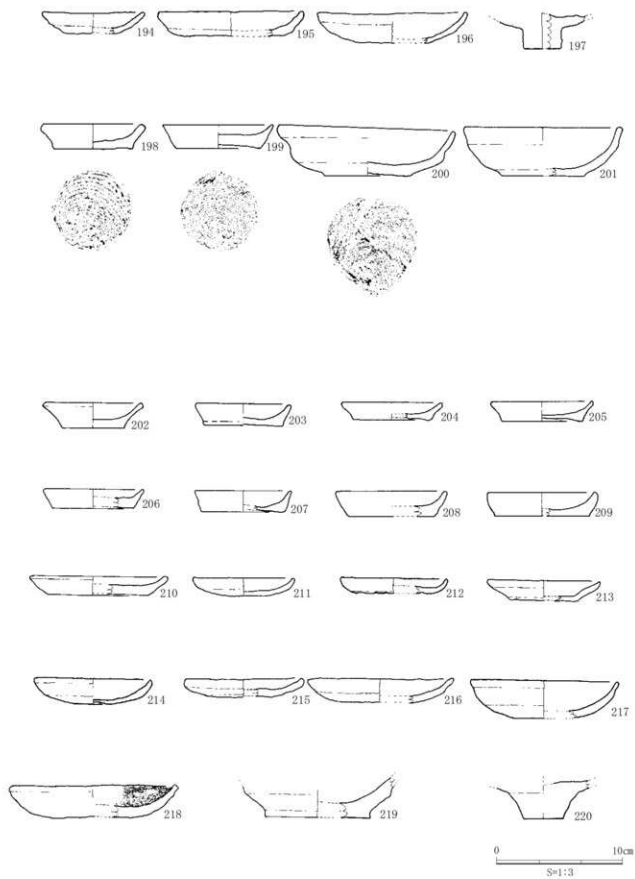
表 10 出土遺物一覧表 (3/3)



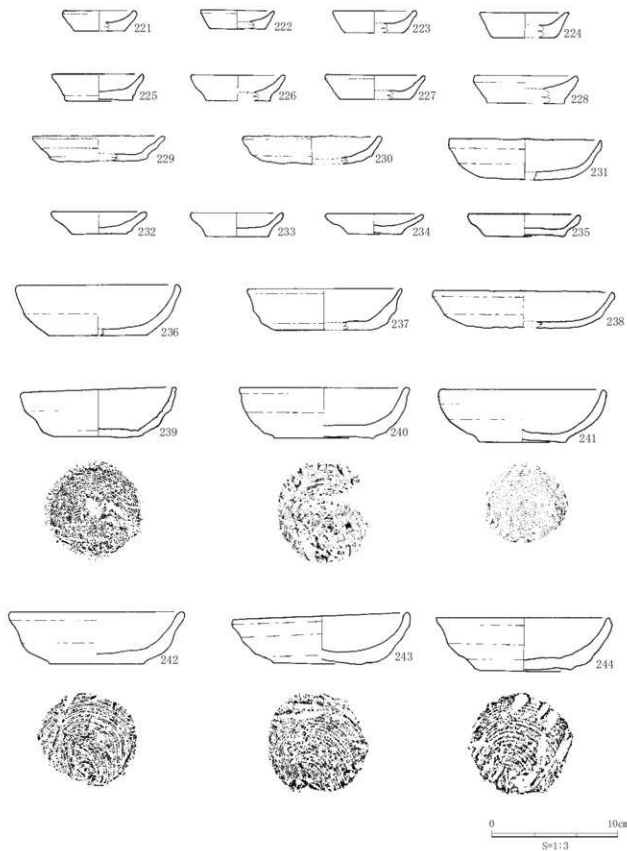
第 37 図 出土遺物 ①



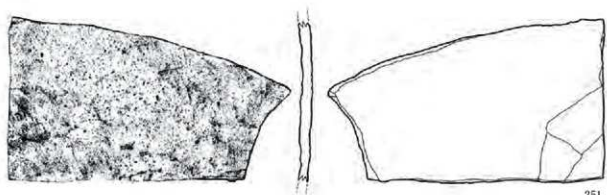
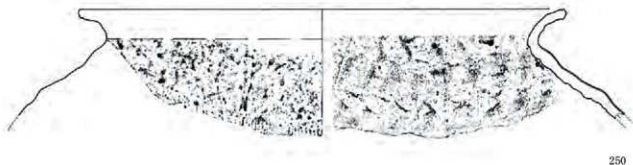
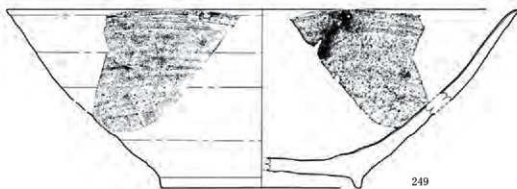
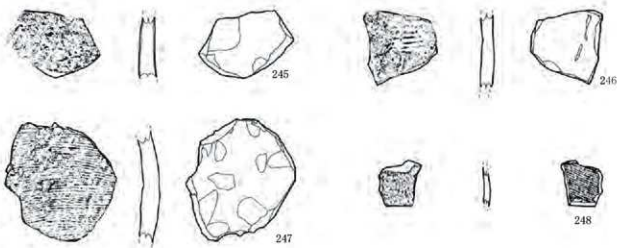
第38図 出土遺物②



第 39 図 出土遺物 ③

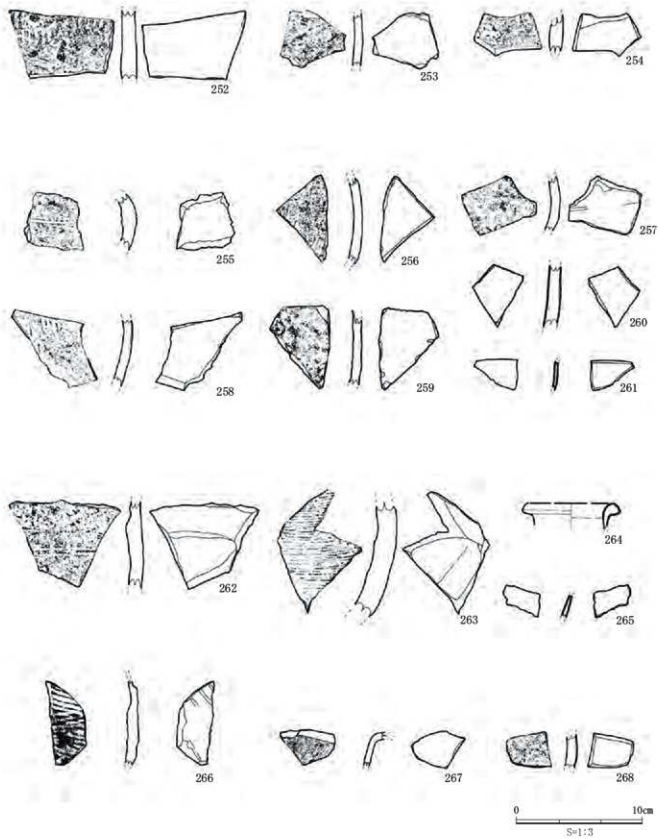


第40図 出土遺物④

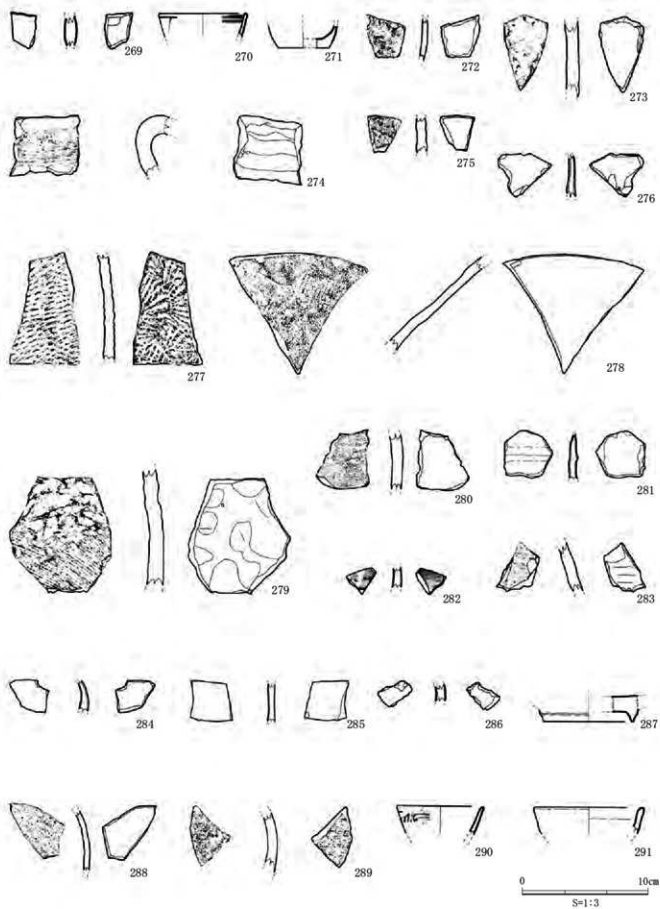


0 10cm
S:1:3

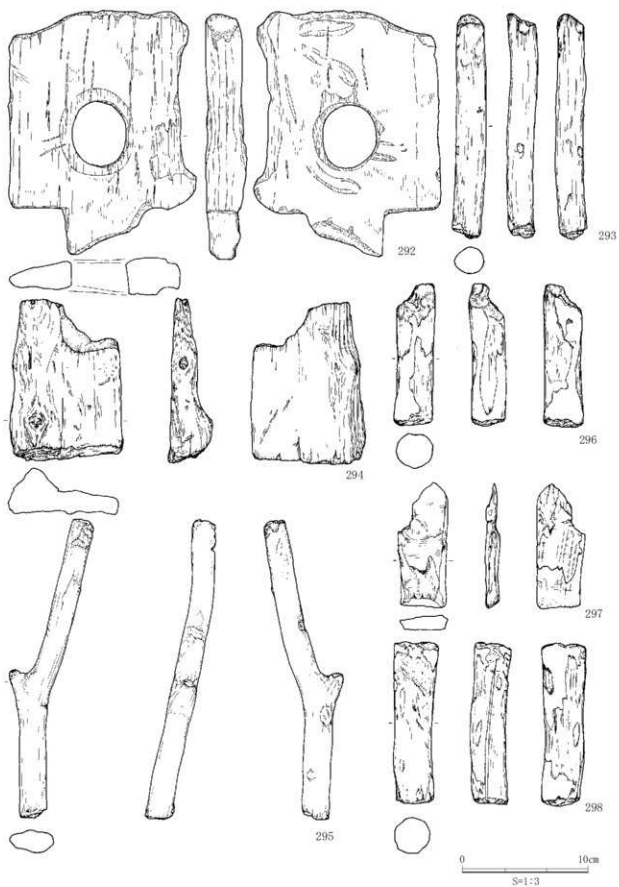
第 41 図 出土遺物 ⑤



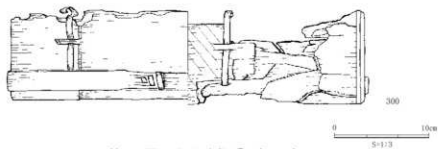
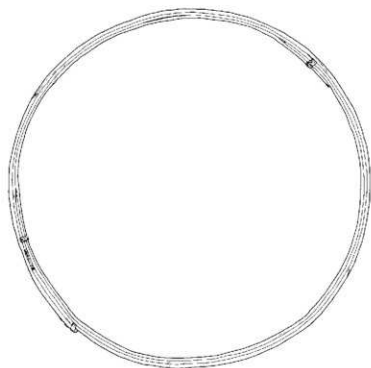
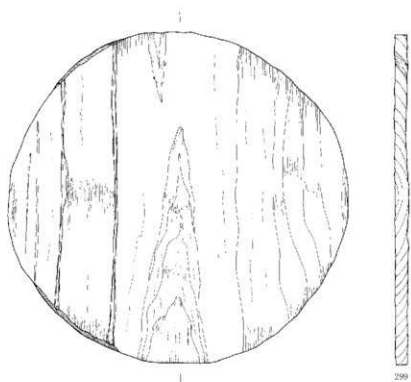
第 42 図 出土遺物 ⑥



第43図 出土遺物⑦



第 44 图 出土遺物⑧ (1:3)



第 45 図 出土遺物 ⑨ (1:3)

4 まとめ

南日詰大銀Ⅱ遺跡第3次調査では、堅穴住居跡1棟、堅穴状遺構1棟、掘立柱建物跡1棟、井戸跡7基、土坑跡14基、溝跡1条、柱穴258口の遺構を検出した。遺物は、土師器・須恵器・かわらけ・土師質土器・国産陶器・中国産磁器・木製品・鉄製品・壁材・その他を中コンテナで28箱出土した。時期は、堅穴住居跡が平安時代（9世紀～10世紀頃）、その他の遺構は中世（12世紀）に属するものと推測される。

・堅穴住居跡

SI-01は隅丸方形の堅穴住居跡である。遺構は1/3残存し、かまどは調査区外（北側）にあると推測される。規模は一辺が約5mをはかり中型に分類される。遺物は、土師器・あかやき・甕などが出土していることから平安時代と推測する。

・堅穴状遺構跡

SI-02は不整隅丸方形の堅穴状遺構跡である。中央部に窪みを持つ。使用目的は判然としないが、貯蔵庫の可能性が考えられる。遺物は、かわらけ・常滑産甕・渥美産壺はなどが出土していることから12世紀の遺構と推測する。

・掘立柱建物跡

SB-09は3間×3間に総柱構造を有する掘立柱建物跡である。規模は南北3間6.38m（21尺3寸）、東西3間6.28m（20尺9寸）をはかり、形状は、柱間隔が約2.1m（7尺）のはほぼ正方形である。遺物は、かわらけが出土していることから12世紀の遺構と推測する。

・井戸跡

SE-01～SE-03・SE-05は中型井戸跡、SE-04・SE-06・SE-07は大型井戸跡に大別する。SE-01～SE-03・SE-05の中型井戸跡の規模は、上端0.83m・1.24m・1.17m・0.98m、深さ1.04m・1.68m・1.02m・1.34mをはかる。SE-04・SE-06・SE-07大型井戸跡の規模は、上端2.03m・2.66m・2.14m、深さ1.86m・1.82m・1.32mをはかる。出土遺物は、SE-04から縄文土器・土師器・須恵器・かわらけ・国産陶器・中国産陶器・木製品・壁材・その他、SE-06から土師器・かわらけ・国産陶器・木製品、SE-07からかわらけなどが出土した。

今回検出した井戸跡には、井戸枠に使われた板材及び石積・敷石等の石材は確認できなかった。以上のことから、素掘りの井戸跡と考えられる。また、出土遺物から12世紀の遺構と推測する。

・土坑跡

SK-06・SK-08・SK-09・SK-11・SK-14・SK-19は不整円形、SK-07・SK-10・SK-12・SK-13・SK-16・SK-18は不整楕円形、SK-15・SK-17は円形に大別する。規模は、各不整円形の上端は0.65m～1.19m、深さ0.18m～0.49m、各不整楕円形の上端は0.46m～1.20m、深さ0.27m～0.39mをはかる。各円形の上端は0.65m～1.03m、深さ0.2m～0.33mをはかる。遺物はかわらけが出土することから、12世紀の遺構と推測する。

・溝跡

SD-02の規模は、全長0.65m、深さは0.26mをはかる。また、第2次調査で発見したSD-01溝跡と繋がる可能性が高い。遺物は、土師器、かわらけ、国産陶器などが出土していることから12世紀の遺構と推測する。

〔引用・参考文献〕

- ・1992 平泉町教育委員会
「柳之御所発掘調査報告書—第30次発掘調査概報—」
- ・2000 岩手県教育委員会
「柳之御所遺跡—第50次発掘調査概報—」
- ・2008 岩手県教育委員会
「柳之御所遺跡—第65次発掘調査概報—」
- ・2011 岩手県文化振興事業団
「南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書」
- ・2013 紫波町教育委員会
「比爪船跡—第23次・第24次発掘調査報告書—」
- ・2015 紫波町教育委員会
「比爪船—第31次・第32次発掘調査報告書—」

V 総括

南日詰大銀Ⅱ遺跡は、平成27年から平成29年の3ヵ年に渡って本調査を実施した。総面積は1,452㎡である。検出遺構は竪穴住居跡1棟、竪穴状遺構1棟、掘立柱建物跡9棟、井戸跡7基、土坑跡19基、堀跡3条、溝跡2条、門跡1ヵ所、遺構不明3基、柱穴774口。遺物は縄文土器、土師器、須恵器、土師質土器、須恵器系土器、かわらけ、国産陶器、中国産陶器、木製品、鉄製品、壁材、その他をコンテナで61箱出土した。今回、検出された12世紀の遺構の中で、特筆される堀跡と門跡について少し考察してみる。

・SA-01～SA-03堀跡と門跡-01・門跡-02の関係

堀跡3条の形状は、壁が垂直に近い逆台形の布堀で構築されている。柱痕の形状を観察すると、丸木材を使用し、材と材が接する状態で隙間なく連続して並べた堀である可能性が高い。この堀跡3条は幅2.8m間隔で並行して構築されていることがわかったが、同時期に並行して有するものなのか、建替えなのかは重複関係の切り合いがなく判然としない。また、第1次調査区で検出したSA-01・SA-02堀跡の西端が途中で切れている。SA-01に関しては門（門跡-01・02）を付属する堀跡であるため、施設を囲む様な形状でなければ、いささか不自然に思われる。推測ではあるが西端の切れ目からは、掘方を伴わない築地堀（土堀）であった可能性が考えられるが、今回の調査では解明することは出来なかった。また、堀跡の上場の幅が60cm前後をはかる規模のものは、12世紀の遺構で知られている比爪館遺跡が存在するが、一回り狭い50cm前後の規模を有するもの、あるいは平板で構築された板堀しか検出されていない。県内において唯一60cm前後を有する規模の堀跡は、柳の御所遺跡でしか発見されていない。以上のことから、今回検出した堀跡は、比爪氏よりも防御力を有し、奥州藤原氏と同等の強固な堀であったことが窺える。

今回、紫波町で初めて中世（12c）の棟門跡が1ヶ所発見された。その規模は、門柱の直径0.42m、門柱間は2.88m（9尺6寸）をはかる。門には身分による制限があり、むやみに建てる事が出来ないものであった。また、門のは格付けがあり大きく四つに区別できる。今回発見された棟門は、四脚門につき上位2位の位置に相当する。また、柳の御所遺跡で調査した際に井戸跡から門（棟門）の部材が発見され、復元されており、本調査区で発見された門跡の形状と類似するものであった。また、今回の調査からは、堀跡のコーナーが確認できなかったことから、南門になるか北門になるかは解明できなかった。

平成30年度に南日詰大銀Ⅱ遺跡第3次調査区の隣接地を、公益財団法人岩手県文化振興事業団岩手県埋蔵文化財センター（以下、同センターと表記）が国土交通省の北上川防波堤工事に伴う緊急発掘調査を実施している。そこから12世紀の遺物と思われる、かわらけ・国産陶器・中国産磁器等が発見されていることから、南日詰大銀Ⅱ遺跡の範囲がさらに北方向に範囲が伸びると推測される。近いうちに同センターが報告書を刊行することで、南日詰大銀Ⅱ遺跡の様相がより詳細になると思われる。

最後に、これまで中世（12C）の比爪館関連遺跡は、東側が南日詰小路口Ⅰ遺跡までであったが、南日詰大銀Ⅱ遺跡を3ヵ年に渡って調査した結果、本遺跡も比爪館関連遺跡であることがわかり、さらに東側及び北東側に広がることもわかった。これで、比爪館関連遺跡の規模は東西約1.0km・南北約0.6kmをはかり、総面積は約60万㎡にもおよぶことになる。このことから、一つの都市として営まれていた可能性が高まる。また、奥州藤原氏の一族である藤原清綱の息子比爪太郎俊衡と比爪五郎季衡の居館が比爪館ということが「吾妻鏡」に記載されており、周知のところである。しかし、比爪氏の間組である藤原清綱の居館跡が未だ発見されていない。まさに南日詰大銀Ⅱ遺跡が清綱の居館跡の可能性も出てくる。いずれにしてもどの様な人物が住んでいたのか、また、どの様な様相をしていたのかを、これまで調査されてきた比爪館遺跡、南日詰小路口Ⅱ遺跡、南日詰大銀Ⅱ遺跡を再度精査し、検証していく必要がある。

写 真 图 版



第1図版 第1次～第3次調査 調査区全景合成（空撮）



第2図版 第1次・第2次調査 調査区全景合成（空撮）



第3図版 第1次調査区全景（空撮）



第4図版 第2次調査区全景(空撮)



第5図版 第3次調査区全景（空撮）



SA-01 柱穴跡



SA-01 完掘 (東から)



SA-02 完掘 (西から)



SB-02 SP-14 根石



SB-06 SP-08 出土遺物状況



SB-08 SP-01 出土遺物状況



Pit242 出土遺物状況



II層 出土遺物状況



SA-01～SA-03 堀跡 完掘（西から）



門跡-01 柱痕



門跡-02 柱痕



門跡-02 断面



SX-01 断面



SX-01 完掘（南から）



SX-02 断面



SX-02 完掘（南から）



SI-01 完掘 (南から)



SI-02 断面



SE-02 断面



SE-02 完掘 (南から)



SE-03 断面



SE-03 完掘 (南から)



SE-04 断面



SE-04 完掘 (北から)



SE-06 断面



SE-06 完掘 (東から)



SD-02 断面



SD-02 完掘 (北から)



SB-09 完掘 (北西から)



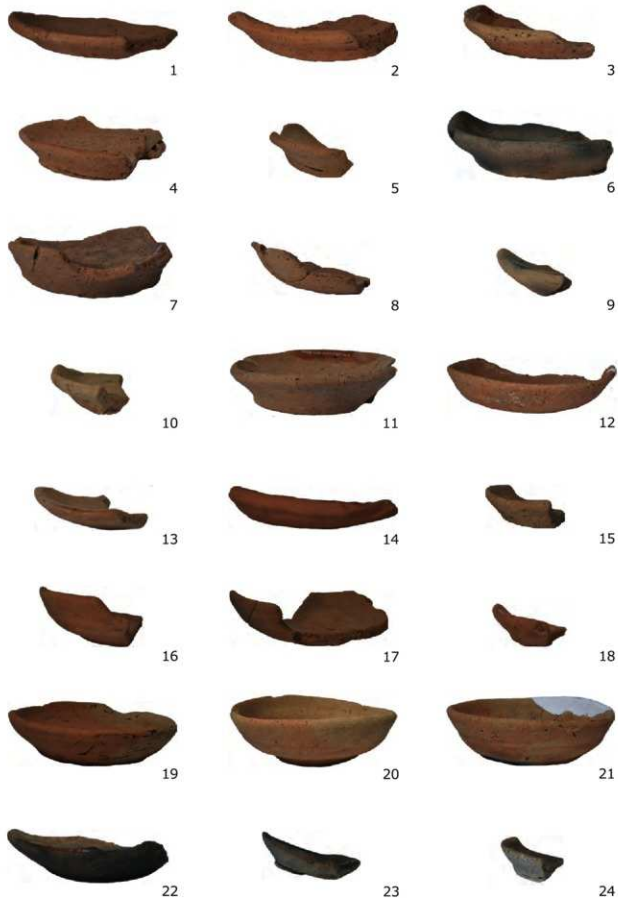
SD-02 出土遺物状況



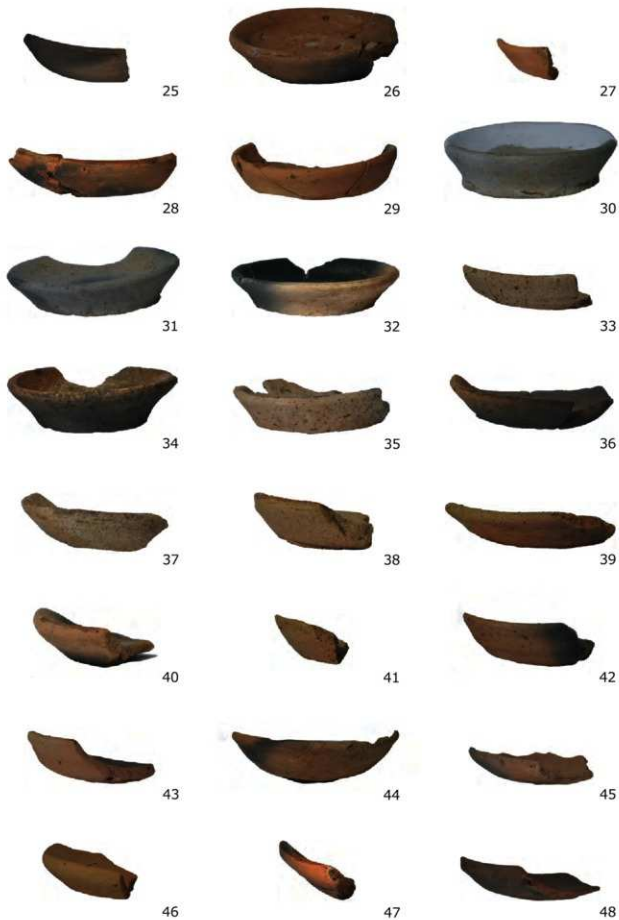
SK-14 出土遺物状況



Pit222 出土遺物状況



第10図版 かわらけ NO-1～NO-24 出土遺物①



第11図版 かわらけ NO-25～NO-48 出土遺物②



第 12 図版 土師器 NO-60・かわらけ NO-49・NO-53～NO-59・NO-61～NO-65・NO-70
 ～NO-79 出土遺物③



80



81



82



83



84



85



86



87



88



89



90



91



92



93



94



95



96



97



98



99



100



101



102



103

第13図版 かわらけ NO-80～NO-103 出土遺物④



第 14 図版 かわらけ NO-104 ~ NO-120・NO-134 ~ NO-140 出土遺物 ⑤



第15図版 土師器 NO-147・かわらけ NO-141～NO-142・NO-147～NO-168 出土遺物⑥



第16図版 かわらけ NO-169～NO-192 出土遺物⑦



第 17 図版 かわらけ NO-193～NO-216 出土遺物 ⑧



217



218



219



220



221



222



223



224



225



226



227



228



229



230



231



232



233



234



235



236



237



238



239



240



241



242



243



244



249-1



251



249-2



250



第 20 図版 須恵器 NO-248・NO-272 国産陶器 NO-51・NO-66～NO-68・NO-121・NO-123・NO-143・NO-245～NO-247・NO-252～NO-259・NO-262・NO-263・NO-266～NO-272 出土遺物 ①



273



274



275



276



277



278



279



280



281



282



283



287



289



290



291



50



52



122



124



144



145



260



261



264



285



265



284



286

第 21 図版 国産陶器 NO-273 ~ NO-291・中国産 NO-50・NO-52・NO-122・NO-124・No-144・NO-145・NO-260・NO-265・NO-284 ~ NO-287・NO-291 出土遺物 ⑫



299



300



292



293



294



295



296



297



298



126



127



128



129



130



131



132



133



146



69



301-1



301-2



125-1



125-2

第 23 図版 木製品 NO-292～NO-298・古銭 NO-126～NO-146・鉄製品 NO-69・壁材 NO-301・石製品 NO-125 出土遺物 ⑭

抄 録

ふりがな	みなみひづめだいきんにいせきだいいちじーだいきんじはっくつちようさほうこくしょ							
書 名	南日詰大銀Ⅱ遺跡—第1次～第3次発掘調査報告書—							
副 書 名								
巻 次								
シリーズ名	岩手県紫波町文化財報告書 2019							
シリーズ番号								
編集者名	鈴木 賢治 川村 均 中島 康佑							
編集機関	紫波町教育委員会							
所在地	岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目3番地1							
発行機関	紫波、裨貫衛生処理組合 紫波町教育委員会							
発刊年月日	平成31年2月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次調査	岩手県紫波郡紫波町 南日詰字小路口92-1		LE77-1104	39° 31′ 57″	141° 10′ 19″	2016.04.14 ～ 2016.07.17	418㎡	汚泥再生 処理セン ター設置 工事に伴 う緊急発 掘調査
南日詰大銀Ⅱ遺跡 第2次調査	同 上		同 上	39° 31′ 56″	141° 10′ 20″	2017.04.04 ～ 2017.07.25	498㎡	
南日詰大銀Ⅱ遺跡 第3次調査	同 上		同 上	39° 31′ 58″	141° 10′ 22″	2018.09.09 ～ 2018.11.10	536㎡	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
南日詰大銀Ⅱ遺跡	散布地	古 代	竪穴住居跡 竪穴状遺構 掘立柱建物跡 堀跡・門跡 井戸跡・溝跡 土坑跡・柱穴	土師器・須恵器 国産陶器 (常滑・渥美・珠洲・ 古瀬戸・大瀬相馬) 中国産陶磁器 (白磁・青磁) かわらけ・ 土師質土器 木製品・鉄製品・ その他		奥州藤原氏 関連遺跡		
	館 跡	中 世						

南日詰大銀Ⅱ遺跡発掘調査報告書

— 第1次～第3次調査 —

2019年2月

編 集 紫波町教育委員会
〒028-3392 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目3番地1
TEL 019-672-2111(代) FAX 019-672-1553

発 行 紫波、稗貫衛生処理組合 紫波町教育委員会
印 刷 永代印刷株式会社
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡一丁目8-30
TEL 019-636-0011 FAX 019-636-0099
